基安化発第 1226001 号
平成 15 年 12 月 26 日

都道府県労働局労働基準部
労働衛生主務課長　殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部化学物質調査課長

旧日本軍による遺棄化学兵器に係る情報提供について

標記については、平成１５年６月１９日付け基安化発第 0619001 号にて、昭和４８年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」による関係資料を配付したところであるが、今般、同調査のフォローアップ調査結果が公表された。ついては、別添により「昭和４８年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」フォローアップ調査報告書」を送付するので、参考とされたい。

昭和４８年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」
フォローアップ調査報告書

平成１５年１１月２８日

環境省

―目　次

ページ

1．概要……1

2．目的……3

3．調査方法……3

3．1調査項目……3

3．2調査要領……3

3．3留意事項等……4

4．調査結果……10

4．1旧軍毒ガス弾等の研究、生産及び配備等の経緯……10

4．2旧軍毒ガス弾等の保有、廃棄、発見及び被災等の状況……12

4．2．1旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況……12

4．2．2旧軍毒ガス弾等の廃棄・遺棄状況……17

4．2．3戦後における旧軍毒ガス弾等の発見・被災・掃海等の処理状況……21

4．3各事案の評価と今後の対応……44

4．4フォローアップ調査各事案分類結果一覧……47

4．5個別事案（各地域ごとの毒ガス弾等に関する状況）……51

4．6その他の毒ガス弾等に関連する情報……263

5．参照文献一覧……293

1．概要

（1）経緯

本調査は、6月6日の閣議了解「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策について」に基づき、昭和48年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査として、国内における旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図るための基礎資料を得ることを目的に実施し、その結果をとりまとめたものである。

（2）調査方法

本調査では、関係省庁及び都道府県等に対して調査協力を依頼し、各都道府県は、市町村の協力を得て調査を行った。また、米国・オーストラリア等からも関連資料を取り寄せるとともに、政府広報等を通じて、広く国民に対しても毒ガス弾等に関する情報提供を呼びかけた。

＜調査項目＞

- 終戦時における旧軍毒ガス弾等の保有及び廃棄の状況
- 戦後における旧軍毒ガス弾等の発見、被災及び掃海等の処理の状況
- その他旧軍毒ガス弾等の保有又は発見の可能性が示唆される場所の現在の状況

（3）調査結果

（ア）保有・廃棄・発見・被災及び掃海等の状況

旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況については全国で34箇所、廃棄・遺棄状況については44箇所の地域が報告され、発見・被災・掃海等の処理状況については823件の報告があった。（地図参照）

（イ）地域毎の状況

本調査では、今回新たに、ア情報を基に地域毎に集約整理し、全国における毒ガス弾等に関する状況を138（陸域と水域にまたがる5事案を含む。）の事案にとりまとめた。現段階における情報の内容に応じて、各事案の分類及び対応の考え方について整理したところである。（表参照）なお、今回の調査において、健康被害が現に発生している等の切迫した事案で新たに判明したものは存在しなかった。

また、この分類については、今般のフォローアップ調査に対して提供された情報等に基づくものであるため、今後の現地における調査結果や追加で提供される情報によって変更することもあり得るものである。

① 陸域の事案（１１４事案）

a 戦後の被災や発見、埋設、廃棄等といった、毒ガス弾等が現在も存在する疑いを積極的に示す内容や情報源の種類、情報の数（複数情報が一致するものか、単独の情報のみか等）からみた「情報の確実性」、

b 具体的な対策の実施が可能かといった観点からの、提供された情報の「地域の特定性」、

等を勘案して、講ずべき対応との関係から、次の４つに類型化した。

A　毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性が高く、かつ、地域も特定されている事案（４事案）

・　こうした事案については、現地における、健康影響の未然防止の観点からの環境調査を実施するとともに、土地改変時の安全確保のための措置等を実施することが必要となる。

B　毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性は高いものの、地域が特定されていない事案（１６事案）

・　こうした事案については、対応を行うべき地域を特定するための、積極的な情報収集の実施が必要となるため、まず、現地周辺の重点的な情報収集を実施し、必要に応じて、地下水等の環境調査を実施することが必要となる。

C　地域は特定されているものの、毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性は不十分である事案（２１事案）

・　こうした事案については、現段階では、ただちに健康影響の未然防止の観点からの環境調査を行う状況にはないが、情報に関する事実関係を確認するために、現地周辺の情報収集を実施することが必要となる。なお、当該調査の結果、必要に応じて、地下水等の環境調査を実施することが必要となる。

※　旧軍問題等の知見を有する有識者等より、特に指摘を受けて、本類型に追加した事案もある。

D　前記以外の事案（７３事案）

・　こうした事案については、現段階では特段の対応が必要であると判断する材料は存在しないため、今後とも、継続して関連情報の提供を受け付けることとする。

②　水域の事案（２９事案）

水域の事案については、海洋２４事案、河川２事案、湖沼３事案であるが、元来、海洋投棄が主要な処理方法の１つであったこともあり、海洋における廃棄、発見等について多くの情報が提供されているところである。

こうした水域の事案は、特に、通常の生活における被害防止を考慮すべき陸域の事案とは異なり、主として、漁業、船舶の航行、浚渫工事等といった水域の利用形態を踏まえた安全確保等の観点から、海洋、河川等各事案の状況に応じた対応を図ることが必要となる。なお、毒ガス弾等の水域におけるその他の影響については、必ずしも

十分な知見を有していないため、なお、引き続き、調査検討することが必要である。

（4）今後の取組

今後は、政府と地方公共団体が緊密に連携し、政府全体として一体的に、こうした各類型の状況に応じた、適切な対策を講じていくことが必要であり、そのための取組方針を可能な限り、早急に決定する必要がある。

2．目的

本調査は、平成１５年６月６日の閣議了解に基づき、昭和４８年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査として、国内における旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図るための基礎資料を得ることを目的に実施し、その結果を昭和４８年に実施された「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査として、旧軍毒ガス弾等の保有、廃棄、発見及び被災等に関する資料を収集・整理し、旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

3．調査方法

関係省庁及び都道府県等の協力を得て、３．１に示す調査項目について、毒ガス弾等に関する情報を収集・整理し、とりまとめた。

３．１調査項目

（1）終戦時における旧軍毒ガス弾等の保有及び廃棄の状況

（2）戦後における旧軍毒ガス弾等の発見、被災及び掃海等の処理の状況

（3）その他旧軍毒ガス弾等の保有又は発見の可能性が示唆される場所の現在の状況

３．２調査要領

（1）関係省庁

７月１７日に事務次官等会議で各省庁に調査協力を依頼した。本調査において、各省庁は表１の役割分担に基づき、表２の依頼事項に沿って調査を行った。

（2）都道府県等

６月２４日に説明会を開催し、都道府県等に対し調査を依頼した。本調査において、都道府県等は市町村の協力を得て、表２の依頼事項に沿って調査を行った。

（3）国内外の資料

６月１５日から６月２１日まで米国に職員を派遣し、関連資料を入手するとともに、国会図書館及び海外（オーストラリア等）からも関連資料を取り寄せるなど、環境省による幅広い情報収集を行った。

（4）政府広報等による情報提供の呼びかけ

政府広報及び都道府県等の広報を通じて、情報提供を呼びかけるとともに、報道機関及び旧軍の親睦団体等に対しても情報提供の協力を依頼した。

３．３留意事項等

（１）調査に当たっての留意事項

①本調査の対象となる旧軍毒ガス弾等の範囲は、旧軍が保有したイペリットその他のいわゆる旧軍毒ガス弾及びこれらの原料化学物質を含む化学物質とする（表３参照）。なお、ここでは、旧軍毒ガス弾等との関係が推定された事例も含むこととした。

②関係省庁及び都道府県等においては、旧軍の毒ガス弾等の資料について、点検を行った。なお、本調査において、主要な新聞の記事も収集することとした。

③本調査の過程で得られた資料や情報等から、毒ガス弾等が存在する蓋然性が高く、かつ地域住民への影響を考慮する必要があるなどの場合（以下、「緊急を要する場合」という。）は、地域住民等に対する安全確保の観点から、情報、事実等の確認、必要な連絡、広報等について迅速に対応することとした。

（２）報告様式

調査項目３．１（１）については様式１、調査項目３．１（２）については様式２、調査項目３．１（３）については様式３によるものとし、日時の古い順に一連番号を付して記載することとした。また、当該報告様式１から３に該当しない事例については様式４に記載することとした（表４参照）。また、各様式に記載した内容の基となる資料がある場合には、その写しを添付することとした。なお、様式１から様式４に関して現在の土地の利用状況も含めて可能な限り詳細な地図を添付し、毒ガス弾等を生産、保管していた場所も分かれば地図上に位置を示すこととした。

（３）情報の管理及び公表

本調査に係る個人及び企業等の情報については、管理を徹底することとした。報告された情報及び資料は、氏名、住所、年齢、電話番号、ＦＡＸ番号及び電子メールアドレスなど個人の属性に関する情報を除き、公表される可能性がある旨、関係省庁及び都道府県等へ連絡した。

表１　昭和４８年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査に係る各省庁の役割分担

	役　　割
環　境　省	・全体のとりまとめ ・地方公共団体が保有する毒ガス弾等の関連資料の収集、提供 ・地方公共団体が行う関係者からの事情聴取等のとりまとめ ・茨城県神栖町の事案の状況及び対応に係る資料の提供
内閣官房	・屈斜路湖（北海道）及び苅田港（福岡県）における毒ガス弾の処理に係る資料の提供 ・その他これまでに関与した毒ガス弾の発見事案への対応に係る資料の提供
総務省	・屈斜路湖（北海道）及び苅田港（福岡県）における毒ガス弾の会計に係る資料の提供 ・その他これまでに地方支分部局において関与した毒ガス弾の発見事案への対応に係る資料の提供
警　察　庁	・都道府県警が保有する毒ガス弾等の関連資料（戦後における毒ガス弾等の発見、被災、処理等の状況に係る資料）の収集、提供
防　衛　庁	・防衛研究所等にある旧軍に関する戦史資料の中から、旧軍の毒ガス弾等の保有・廃棄の状況に係る資料の捜索及び提供 ・旧軍の施設（基地、飛行場、工場、研究所等）の設置場所についての資料（地図上の位置、各施設の機能等）の捜索及び提供 ・苅田港（福岡県）における毒ガス弾の処理に係る資料の提供
外　務　省	・化学兵器禁止条約の締結に当たり入手した旧軍の毒ガス弾等に係る情報（国外のみに関わる情報を除く。）の提供 ・化学兵器禁止条約の締結に当たり行った地方公共団体に対する調査の結果に係る資料の提供 ・環境省が行う、米国・オーストラリア政府が保有する旧軍の毒ガス弾等に係る資料の収集に対する支援（両国の政府その他関係機関との連絡調整等）

財　務　省	・「ガス障害者救済のための特別措置要綱」に基づく被害者支援に係る資料の提供 ・旧軍が管理していた土地の国有財産としての所有及び売却に関する情報
文部科学省	・学校等の教育機関（国立学校、私立大学等）における毒ガス弾等の埋設等に関する資料の提供
厚生労働省	・「毒ガス障害者に対する救済措置要綱」に基づく被害者支援に係る資料の提供 ・毒ガス弾等による健康被害の症例に係る資料の提供 ・旧復員局が保有していた旧軍に関する資料のうち、毒ガス弾等に係る資料の提供
農林水産省	・毒ガス弾等による漁業被害の状況及び被害対応に係る資料の提供
経済産業省	・　経済産業省又は関係団体が保有する毒ガス弾等に係る資料の提供（例：化学物質評価研究機構等が保有する資料）
国土交通省	・海域における毒ガス弾等の発見・被災事例に係る資料の提供 ・海洋投棄場所の周辺海域の状況（水深、海上交通等の状況） ・神奈川県平塚市及び寒川町の事案の状況及び対応に係る資料の提供 ・苅田港（福岡県）における毒ガス弾の探査に係る資料の提供

(※) この表に記載したものは例示であり、各省庁（地方支分部局等を含む。）における共通調査項目として以下の事項についても幅広く情報提供を依頼した。

（1）終戦時における旧軍毒ガス弾等の保有及び廃棄の状況
（2）戦後における旧軍毒ガス弾等の発見、被災及び掃海等の処理の状況
（3）その他旧軍毒ガス弾等の保有又は発見の可能性が示唆される場所の現在の状況

また、内閣府、金融庁及び法務省においても、上記の共通調査項目について調査に協力頂いた。

表２　依頼事項（各省庁及び都道府県等）

依頼項目	依頼内容
資料の収集等	保有する旧軍毒ガス弾等に係る資料（行政文書、新聞記事等）の点検・収集
事情聴取等	旧軍毒ガス弾等の製造、運搬及び保管並びに被害者等の事情聴取、情報収集
関係市町村からの情報収集	関係市町村からの関連情報収集（都道府県のみ）

表３　旧軍毒ガス弾の種類

旧軍における名称	化学物質の名称	区分
きい剤	マスタード（イペリットともいう）、 ルイサイト、及び両化学物質の混合物	びらん剤
あか剤	ジフェニルシアノアルシン （ＤＣ，ジフェニルシアシアルシンともいう） ジフェニルクロロアルシン（ＤＡ）	くしゃみ剤 （嘔吐剤）
みどり剤	クロロアセトフェノン	催涙剤
あお剤	ホスゲン	窒息剤
ちゃ剤	シアン化水素	血液剤
しろ剤	トリクロロアルシン	発煙剤

注）旧軍毒ガス弾等の区分と毒性

（１）びらん剤

硫黄マスタードとルイサイトが代表的であり、両化学物質は蒸発速度が遅く、細かい霧状または水滴状で用いられることが多い。皮膚浸透性を有しており防毒マスクだけでは防ぐことはできない。マスタードは皮膚に付着すると数時間後に赤い斑点を生じ痛みを伴うびらん症状を呈する。目や呼吸器の粘膜を冒し水疱、潰瘍を生じる。ルイサイトはマスタードより効果が現れるのが早く、皮膚に付着したり目に入ると耐えがたい痛みを生じる。旧日本軍のきい剤はマスタードとルイサイトが主成分である。

（２）くしゃみ剤（嘔吐剤）

ジフェニルシアノアルシン（ＤＣ）、ジフェニルクロロアルシン（ＤＡ）やアダムサイトのような有機ヒ素化合物があり、低濃度で鼻、喉、目の粘膜にに激しい刺激を与え、くしゃみ、咳、前額部に痛みを感じ、高濃度では呼吸器深部を冒し、嘔吐、呼吸困難、不安感を生じ死亡する例もある。旧日本軍のあか剤はＤＣ、ＤＡの混合物である。

（３）催涙剤

クロロアセトフェノンやクロロベンジルマロノニトリルのようなハロゲン化合物であり、目や喉を刺激して激しい催涙効果を示す。死に至らしめることはほとんどなく、暴動の鎮圧用に配備されていた。

（４）窒息剤

呼吸器系に作用して喉や気管支を刺激し、肺に障害を起こして死に至らしめる。塩素やホスゲンが代表的な化合物である。

（５）血液剤

青酸ガスが代表的な化合物で、体内に吸収された後、血液成分（ヘモグロビン）、全身の組織に作用して呼吸器障害を起こし、睡眠を伴い死に至らしめる。窒息剤や血液剤は、揮発性が高く呼吸器を通して作用するので、防毒マスクを着用することで防ぐことができる。

（６）発煙剤

空気中で発煙し、刺激性がある。高濃度では、眼、皮膚、気道に対して腐食性を示し、この蒸気を直接吸入すると重症では排水腫を起こす場合がある。

出典：遺棄化学兵器の安全な廃棄技術に向けて（日本学術会議報告平成１３年７月）、
International Chemical Safety Cards(ICSC 1989)　他

表４　調査結果の報告

様式１　終戦時における旧軍毒ガス弾等の保有及び廃棄状況

番号	（保有、廃棄）場所	年月日	廃棄作業者名	種類・数量	事案の概要、処置等	資料の出所	備考

様式２　戦後における旧軍毒ガス弾等の発見、被災及び掃海等の処理の状況

番号	（発見、被災、処理）場所	年月日	種類・数量	事案の概要	救済・補償	資料の出所	備考

様式３　その他旧軍毒ガス弾等の保有又は発見の可能性が示唆される場所の現在の状況

番号	調査場所	調査日	調査内容	資料の出所	備考

様式４　様式１から３に該当しない事例の報告

番号	調査場所	調査日	事案の概要	資料、情報の出所	備考

○ 様式１から様式４に関して現在の土地の利用状況も含めて可能な限り詳細な地図を添付して下さい。毒ガス弾等を製造、保管していた場所も分かれば地図上にプロットして下さい。

４．調査結果

４．１旧軍毒ガス弾等の研究、生産及び配備等の経緯

（１）研究及び生産

第１次世界大戦のころから、毒ガスが頻繁に使用され始めたことを契機として、日本においても、まず陸軍の技術審査査部において大正３（１９１４）年に毒ガスに関する調査研究が開始され、大正８（１９１９）年には東京の戸山ケ原に陸軍科学研究所が設置され、毒ガス研究が進められた。昭和４（１９２９）年には、大久野島（広島県）に陸軍造兵廠火工廠忠海兵器製造所が開設され、毒ガス弾等の生産が本格的に始まるとともに、昭和８（１９３３）年には、教育訓練を目的とした陸軍習志野学校が千葉県に創設され、昭和１２（１９３７）年には毒ガスの充填を行うために陸軍造兵廠曾根兵器製造所（福岡県）が開設された。

一方、海軍においては、大正１２（１９２３）年に技術研究所研究部に化学兵器研究室（東京築地）が設置され、研究が開始された。昭和５（１９３０）年には目黒への移転に際し、平塚に出張所が開設され、化学兵器研究室は平塚に移転した。昭和９（１９３４）年には神奈川県平塚市の化学兵器研究室が海軍技術研究所化学研究部に昇格し、昭和１８（１９４３）年には相模海軍工廠として独立し、本廠が神奈川県寒川町に置かれた。

（２）陸海軍が制式化した毒ガス

陸海軍とも、第１次世界大戦中ないしはその直後に欧米列強が開発した毒ガスを制式化（兵器として正式に採用すること）した。

毒ガスの呼称は、陸軍の場合は、種類ごとに色名で呼び、催涙性ガスを「みどり剤」、くしゃみ性・嘔吐性ガスを「あか剤」、びらん性ガスを「きい剤」、血液毒ガスを「ちや剤」、窒息性ガスを「あを剤」と呼称した。また、海軍では毒ガスを「特薬」と称し、その性質ごとに番号を付し、催涙性ガスを「１号特薬」、くしゃみ性・嘔吐性ガスを「２号特薬」、びらん性ガスを「３号特薬」、血液性ガスを「４号特薬」と呼称した。

（３）毒ガス兵器の国内配備

配備の実態については、完全な記録が残っていないため、全体像の把握は難しい。現在のところ、確認されているのは国内における毒ガスの研究・実験・教育の名目で陸軍省が毒ガスを交付することを記した昭和１５年までの公文書のみである。公文書等により確認された配備の状況は以下のとおり。

①研究・訓練及び実験等のための配備

陸軍の交付先は、陸軍科学研究所・各演習場・各種陸軍学校などである。これらの場所に交付された毒ガス弾等のうち終戦時まで残存していたものがあるか、また、それらがどのように廃棄されたかは不明な事例が多い。なお陸軍に

おける野外実験は別紙１のとおり。

一方、海軍については、関連資料が少ないものの、茨城県若松村（現波崎町）の「鹿島海軍用地」でイペリット・ルイサイトのガス弾による動物実験が行われていたことが確認された。また、広島県亀ヶ首の海軍射撃場においても、毒ガス弾の実験が行われていたとの証言が存在する。

なお、陸海軍とも国内各地の「本土決戦」用部隊に対し、教育・訓練を目的として若干量の毒ガス弾等が交付されていた可能性が指摘されている。

②毒ガス戦準備計画

昭和１９（１９４４）年1月２９日に大本営陸軍部は、アメリカ軍が先制的に毒ガスを使用する可能性が高いとして、毒ガス戦準備計画を立案し、関係各軍に下達した(「大陸指第千八百二十二号」とこれにもとづく「化学戦準備要綱」)[1]。これによると、国内における毒ガス弾等集積拠点は小樽（北海道）・忠海（広島県）が指定され、毒ガス弾が配備された。

③空襲を避けるための移動

陸軍の場合は、日本本土に対する空襲を考慮し、安全な地点への集積が行われている。例えば、岩手県滝沢村[2]・広島県八本松と山口県大嶺[3]には集中的な集積が行われた。また、第六陸軍技術研究所は戦争末期に日本各地に疎開しており、その際に毒ガス弾等を伴って移動した場合がある。海軍の場合は、元相模海軍工廠関係者による記録では、空襲の激化に伴い日本各地に疎開し、毒ガス弾は各地の航空廠に分散配置したと記されている[4]。

なお、終戦時における国内の毒ガス研究機関の展開状況は表５のとおり。

表５　終戦時における国内の毒ガス研究機関の展開状況

陸軍	海軍
第六陸軍技術研究所[5] 本部（東京都新宿区） 高岡出張所（富山県高岡市） 米沢分室（山形県米沢市） 五泉分室（新潟県五泉市） 赤城分室（群馬県沼田市） 吉浜出張所（神奈川県湯河原町） 西宮研究所（兵庫県西宮市） 与野研究室（埼玉県さいたま市） 西海研究所（石川県富来町） 札幌研究室（北海道札幌市）	相模海軍工廠 本廠（神奈川県寒川町） 平塚分廠（神奈川県平塚市） 錦出張所（福島県いわき市） 多摩出張所（東京都多摩市） 上田出張所（長野県上田市）

1) 『毒ガス戦関係資料Ⅱ』（不二出版、平成９年）所収。

2) 「引継調書（弾薬）」（仙台陸軍兵器補給廠「兵器集積要図」所収、防衛庁防衛研究所図書館所蔵）。

3) 「化学兵器応答集（其ノ三）」昭和20年10月１日（陸軍省軍事課「軍需品、軍需工場ノ処理ニ関スル書類綴」所収、防衛庁防衛研究所図書館所蔵）。

4) 『相模海軍工廠』。

5) 「本邦化学兵器技術史年表」厚生省引揚援護局史料室、（1957年２月）。

４．２旧軍毒ガス弾等の保有、廃棄、発見及び被災等の状況

４．２．１　終戦時旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況

（１）　本調査項目について、関係省庁、都道府県等から情報提供を受け、国内外の資料、政府公報等による情報提供の呼びかけにより、幅広く関連情報を収集した。収集した関連情報は、専門家による助言・検討を踏まえて、取りまとめた。

終戦時における毒ガス弾等の保有状況は、図１および表６のとおりである。

（２）　保有部隊および場所が同一であっても、保有量が異なる情報がある場合は、情報の確実性を勘案して、複数の保有量を併記した。

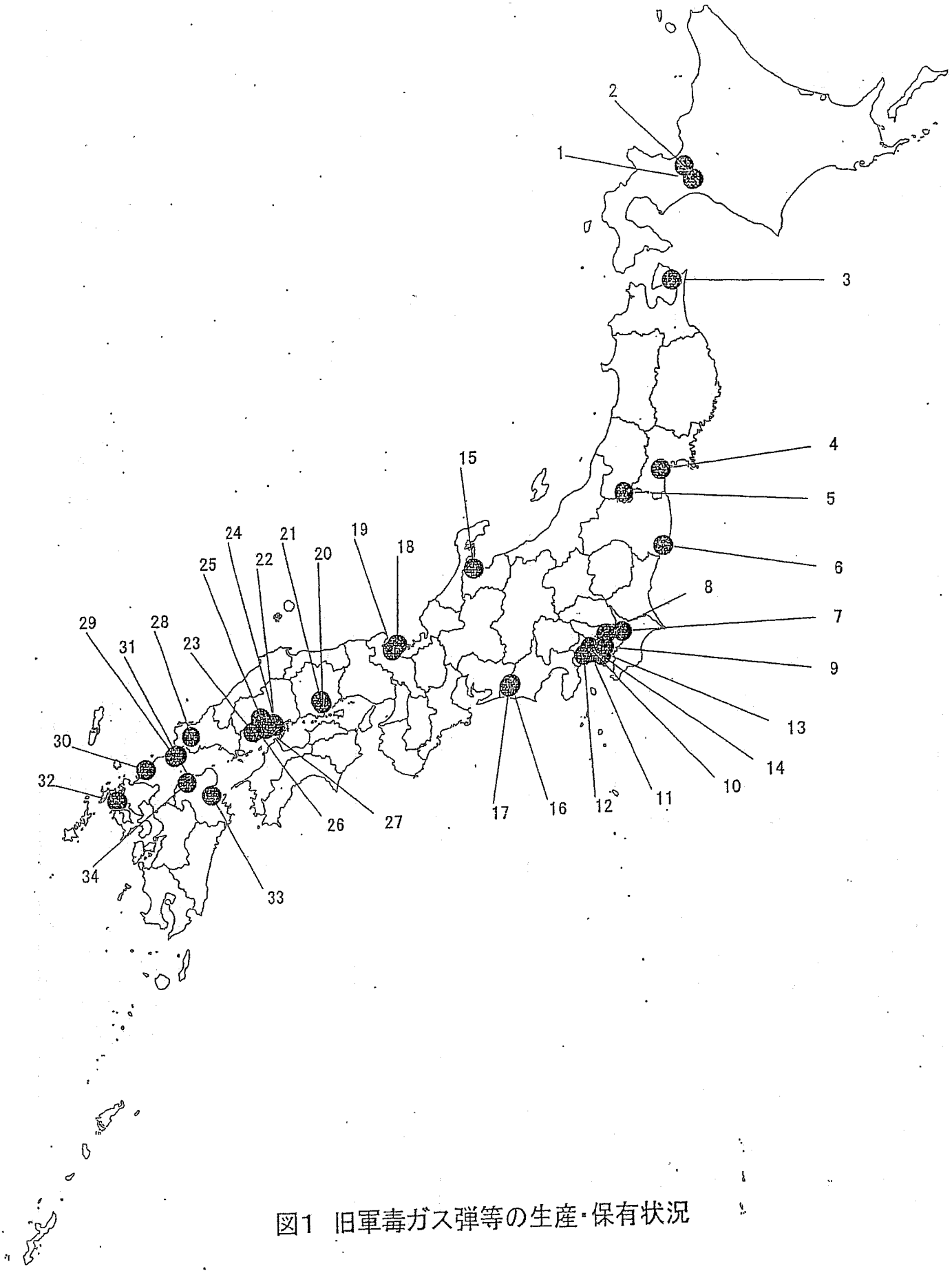

図1　旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況

表6. 旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況

No.	地図記載番号	保有部隊等	場所	イペリット	ルイサイト	青酸	ジフェニルシアノアルシン	クロロアセトフェノン	砲・爆弾
1	1	海軍航空廠千歳工場	北海道千歳市	3.689ton					
2		同上	同上						60kgイペリット爆弾(六番一号爆弾)217発
2	2	北海道陸軍兵器補給廠	北海道札幌市						量不明
3	3	大湊警備府管下	青森県むつ市						2,000発
4		同上	同上						(3,000発)
5		同上	同上						200発
6	4	仙台陸軍兵器補給廠盛岡分廠	岩手県滝沢村						発射あか筒 9,000個
7	5	第六陸軍技術研究所米沢分室	山形県米沢市	若干			若干		
8	6	相模海軍工廠錦分廠	福島県いわき市					35～39.5ton	
9		同上	同上	41ton	10ton		98.5ton	36.5ton	60kgガス弾414発、アダムサイト2ton 塩化アセトフェノンは錦分相模海軍工廠分合
10	7	陸軍習志野学校	千葉県習志野市、船橋市、	相当量	6ton	若干			
11	8	第六陸軍技術研究所	東京都新宿区	合計で100kg					
12	9	海軍航空廠瀬谷工場	神奈川県横浜市	150.5ton					
13		海軍航空廠(池子・瀬谷)	神奈川県横浜市	10,000発			30,000個	52ton	
14		相模海軍工廠	神奈川県横浜市	42.25ton			23.85ton	1ton	相模本廠:イペリット爆弾314発
15		同上	同上	0.1ton	6.525ton		72.8ton		平塚分廠:くしゃみ・催涙ガスの型薬缶1,035個、イペリット爆弾17
16		同上	同上					52ton	横須賀(池子・瀬谷):くしゃみ・催涙ガスの型薬缶約30,000個、イペリット爆弾約10,000
17		同上	同上	43.1ton	6.6ton		100ton	111.6ton	ホスゲン5ton アダムサイト2.1ton 瀬谷に60kgイペリット爆弾
18	10	相模海軍工廠	神奈川県寒川	47.7ton			23.9ton	100ton	
19		同上	同上	42.3ton			23.8ton	100ton	
20		同上	同上	41ton			98.5ton	36.5ton	一号特薬 36.5トン二号特薬 98.5トン三号特薬甲 41トン
21		同上	同上	42.3ton			23.8ton	1ton	60kgイペリット爆弾397発(北里資料では314発)イペリット42.3t(北里資料では42.25t)クシャミ性ガス23.8t(北里資料では23.85t)催涙ガス1t
22	11	平塚相模海軍工廠平塚化学実験部	神奈川県平塚市	0.1ton	6.5ton		72.8ton		
23		同上	同上	0.4ton	10.2ton		77ton		
24		同上	同上	0.6ton	10.2ton		77ton	0.3ton	
25	12	陸軍技術研究所吉浜出張所	神奈川県湯河原町						イペリット入り鉄ガメ20個・ドラム缶30本
26	13	第二海軍航空廠	神奈川県厚木						60kgイペリット爆弾8,852発
27	14	横須賀海軍軍需部	神奈川県横須賀市					52.5ton	塩化アセトフェノン52.5tクシャミ性ガス型薬缶30,000個
28		同上	同上						手投涙弾甲大 4,000個 手投涙弾甲小 6,000個
29	15	陸軍技術研究所高岡出張所	富山県高岡市	0.8ton					
30		同上	同上			200L			
31	16	陸軍技術研究所三方原出張所	静岡県引佐郡						イペリット入りドラム缶1本
32	17	三方原陸軍教導飛行団	静岡県引佐郡	16ton	2ton				
33	18	海軍航空廠(舞鶴)	京都府舞鶴						60kgイペリット爆弾約5,000発

No.	地図記載番号	保有部隊等	場所	イペリット	ルイサイト	青酸	ジフェニルシアノアルシン	クロロアセトフェノン	砲・爆弾
34	19	舞鶴海軍軍需部	京都府舞鶴						舞鶴海軍軍需部にくしゃみ性ガス放射筒1,200本、催涙ガス手投げ弾(小)5050発、催涙ガス手投げ弾(大)6200発残存
35	20	広島陸軍兵器補給廠岡山分廠	岡山県岡山市						各種あか筒49本きい剤容器70本
36	21	岡山県三軒屋広島陸軍兵器補給廠三軒屋	岡山県三軒屋						九八式中あか筒203個、百式発射あか筒110個、 九八式小あか筒100個、九八式発射あか筒30個
37	22	陸軍造兵廠忠海製造所	広島県竹原市	1,451ton	824ton	13.2ton	958.1ton	7ton	
38	23	海軍航空廠切串工場	広島県江田島	192.8ton					各種あか筒89,504本
39	24	陸軍兵器補給廠忠海分廠阿波島出張所	広島県阿波島						100mmあか弾1,198発100mmきい弾1,796発
40	25	広島陸軍兵器補給廠八本松分廠	広島県八本松						60kgイペリット爆弾638発
41		同上	同上						60kg一号爆弾 11,344個
42	26	第11海軍航空工廠	広島県呉市						六番一号爆弾 6,655個
43	27	第11海軍航空廠(内海補給工場)	広島県安浦町						弾薬箱50,000箱
44	28	陸軍兵器補給廠大嶺常駐班	山口県大嶺						嘔吐性ガス弾75ミリ～150ミリ 63, 578発、イペリット・ルイサイトガス弾75ミリ～150ミリ 20, 396発、合計83, 974発
45		同上	同上						九四式軽迫撃砲あ弾弾薬筒 49,798個、九四式軽迫撃砲い弾弾薬筒4,300個、四年式十五榴あ弾 3,000個四年式十五榴い弾5,000個三八式野砲あ弾弾薬筒5,000個三八式野砲い弾弾薬筒5,000個九一式十榴九三式尖鋭あ弾 6,096個、九一式十榴九三式尖鋭い弾 5,780個
46		同上	同上						100mmガス弾5,820発、5mmガス弾20,000発、150mmガス弾8,000発、90mmガス弾54,098発(うち、7割がきい弾、3割があか弾)
47		同上	同上						75mmガス弾20,000発、90mmガス弾54,908発、100mmガス弾5,820発、150mmガス弾8,000発
48		同上	同上						各種あか弾54,798発、各種きい弾14,300発
49		同上	同上						八本松と県大嶺にガス弾90,132発(うち、7割がきい弾、3割があか弾)
50		同上	同上						九四式軽迫撃砲あい弾弾薬筒 47,172個、四年式十五榴あい弾3,281個、三八式野砲あい弾弾薬筒 9,984個、九一式十榴あい弾4,810個
51		同上	同上						
52			愛媛県大三島				(554.8ton)	(7ton)	ともに大久野島分の内
53	29	陸軍造兵曽根製造所	福岡県北九州市						ガス弾16,000発

No.	地図記載番号	保有部隊等	場所	イペリット	ルイサイト	青酸	ジフェニルシアノアルシン	クロロアセトフェノン	砲・爆弾
54	29	同上	同上						各種あか弾4,109発、各種きい弾12,145発、投下きい弾7発、投下あか弾11発、計16,272発
55	30	海軍航空廠博多工場	福岡県志賀島	1.139ton					60kg一号爆弾67個(博多1.139ton)＋7個(福岡)
56	31	小倉陸軍造兵廠	福岡県小倉市						あか弾50,000発
57		同上	同上						催涙筒 60個
58	32	佐世保海軍軍需部	長崎県佐世保						60kgイペリット爆弾5,000発
59		同上	同上						催涙筐 200個手投涙弾 28,828個
60	33	海軍航空廠大分工場	大分県大分市						イペリット型薬缶2,351個(内容量計
61		同上	同上	90ton					
62	34	不明	大分県耶馬渓						60kgイペリット爆弾5,000発

4．2．2　旧軍毒ガス弾等の廃棄・遺棄状況

（1）　本調査項目について、1の調査項目（旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況）と同様に、国内外の資料、政府公報等による情報提供の呼びかけにより、幅広く関連情報を収集した。収集した関連情報は、専門家による助言・検討を踏まえて、取りまとめた。
終戦時における毒ガス弾等廃棄・遺棄状況は図2及び表7のとおりである。

（2）　廃棄方法は、おおむね次のとおりであった。
旧軍毒ガス弾等の廃棄は、米軍進駐後に、在日米兵站司令部の命ずるところによって、実施された。廃棄方法は焼却破壊及び海中投棄が最も安全なものとして採用されたが、主としては海中投棄であった。日本人作業員は専ら投棄船の操縦及び投棄作業の実施に用いられ、監督の任にあたる在日米軍は看視船を同行するか又は飛行機から看視することによってその実施作業を監督した。なお、監督の目を逃れ、しばしば投棄指定場所が侵犯された旨が残存資料に指摘されている。

（3）　遺棄方法は、おおむね埋設、海中投棄、焼却等であり、旧軍毒ガス弾等の遺棄は、終戦時から米軍進駐前に実施された。遺棄については、公文書等が残存しないため、環境省および都道府県等に提供された証言等に基づき、情報を取りまとめた。

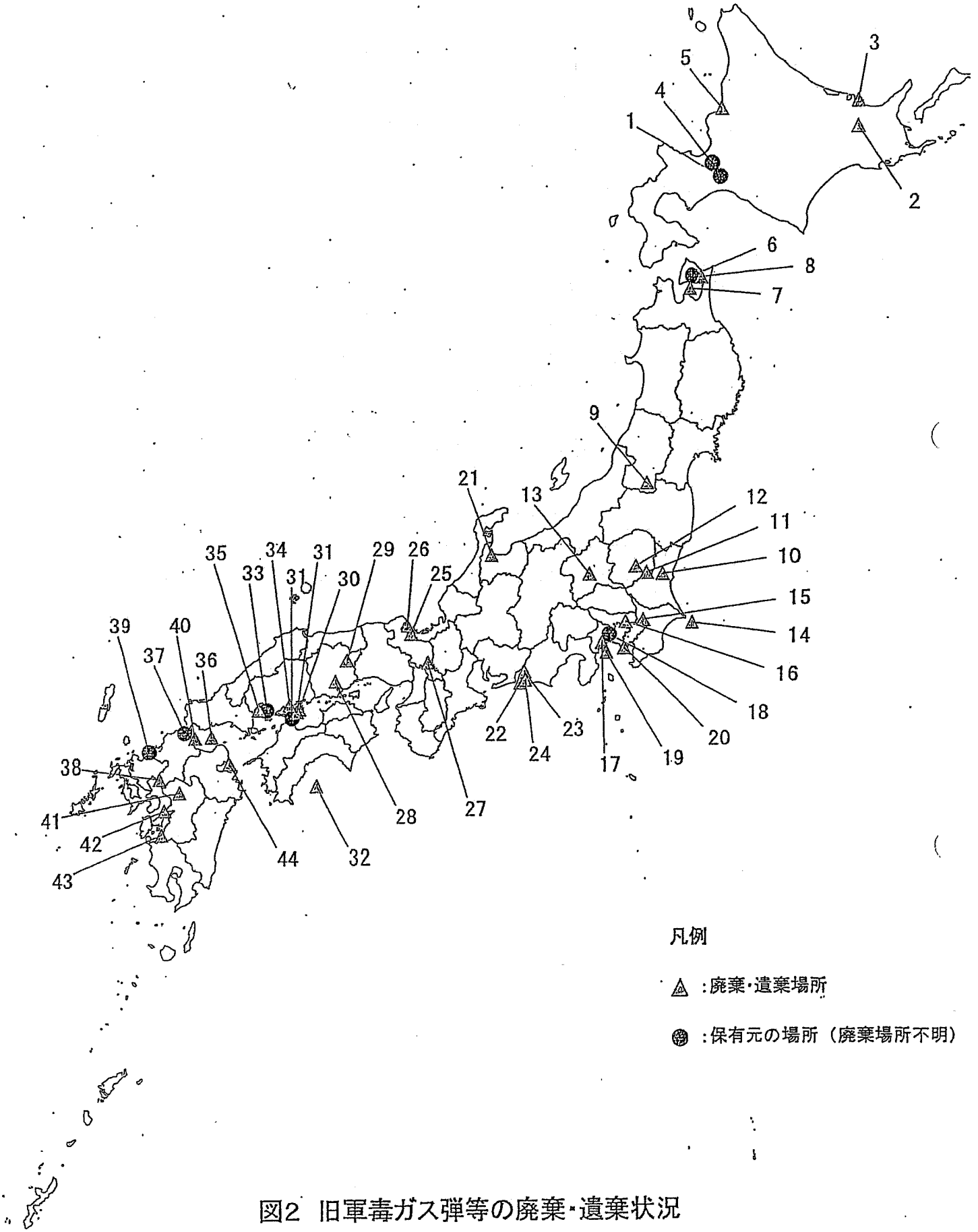

図2　旧軍毒ガス弾等の廃棄・遺棄状況

表7. 旧軍毒ガス弾等の廃棄・遺棄状況

地図記載番号	保有部隊等	廃棄先	年月日	イペリット	ルイサイト	青酸	ジフェニルシアノアルシン	クロロアセトフェノン	砲・爆弾	廃棄(米軍・英軍)	遺棄(旧軍、民間)
1	海軍航空廠千歳工場	投棄場所記載なし	昭和21年8月頃	3.689ton						米軍監督下に海中投棄(投棄場所記載無し)	
2		屈斜路湖	昭和20年夏						ガス弾60		投棄(屈斜路湖)
3	第41海軍航空廠美幌分廠	網走沖	昭和20年夏						ガス弾100	一部米軍引渡し	大半を網走沖投棄
4	北海道陸軍兵器補給廠厚別弾薬庫	埋設場所記載なし	昭和20年9月15日	ドラム缶1							地中に埋設(埋設場所記載無し)
5	北海道陸軍兵器補給廠厚別弾薬庫	留萌市内の廃坑	昭和20年9月15日					貨車7両分催涙弾(くしゃみ剤との情報も有り)			小樽留萌沖に投棄を試みた後、留萌峠下に埋設
6	大湊警備府	投棄場所記載なし	昭和20年8月						ガス弾2000発(3000発保有のうち、1000発は北海道へ移動)		米軍到着前に海中投棄
7	海軍(大湊警備府)	陸奥湾	昭和20年8月24日・25日頃の2日						60～100個の毒ガス弾等		米軍到着前に海中投棄。
8	記載無し	大曲地区	終戦時						ドラム缶(中身不明)100～200本程度		埋設
9	山形県米沢市第六陸軍技術研究所米沢分室	米沢市	終戦時	若干			若干				米沢郊外で焼却
10	東部37部隊	東部37部隊練兵場内	昭和20年8月	少量							練兵場で焼却
11	記載無し	小学校	昭和20年8月	500～1,500g							埋設
12	記載無し	栃木県宇都宮市戸祭町(洞窟内)	昭和55年3月3日～同13日						93式持久ガス現示筒184本	コンクリート被覆で密封後、5月9日に海中投棄	
13	予備士官学校のガス庫	相馬ヶ原	昭和20年8月末						毒ガス弾弾薬箱30箱程度		処分方法不明
14	長野、福島、静岡などから	銚子沖等(銚子沖、犬吠崎、鹿島沖、利根川河口)	昭和20年10(11)月～昭和21年5月	450ton						「圓形ガス弾」は君ヶ浜で焼却、1945年10(11)月～1946年5月まで鉄製樽型容器1,350個分を銚子沖に投棄(水深100～200m)	
15	習志野学校	習志野市	終戦時	イペリット缶量不明	6ton	若干					中和後敷地内埋設。一部海中投棄。
16	第六陸軍技術研究所	新宿区	終戦時	100kg							焼却処分(あるいは米軍引渡し)
17	陸軍技術研究所吉浜出張所	吉浜	終戦時	若干	若干						保有量の内若干を海浜に投棄。
18	第1海軍航空廠(厚木)	投棄場所記載なし	昭和21年8月頃	イペリット型薬缶8,852個(内容量計150,484kg)							投棄場所記載なし
19	不明	相模湾	昭和20年8月	2ton							相模湾投棄分として記載
	陸軍第六技術研究所	相模湾	終戦時	イペリット7～8本							海中投棄(相模湾:真鶴沖と初島の間)
	海軍工廠(平塚)	相模湾	昭和20年頃	不明(大量)							海中投棄(相模湾:烏帽子岩(茅ヶ崎沖)と花水川の中心線)
20	「特別陸戦隊(化兵隊)」横須賀	横須賀市衣笠山	昭和20年8月20日頃	小型ドラム缶4～5本							山中に埋設
21	六陸軍技術研究所高岡出張所	高岡市	昭和20年8月	0.8ton							焼却
22	三方原陸軍教導飛行団(比佐郡)	浜名湖	昭和20年8月17,18日	16ton	2ton						湖に投棄
23	第三陸軍航空技術研究所三方原出張所	引佐郡(中川村)	昭和20年	ドラム缶1本(不確実)							山中に埋設
24	三方原教導飛行団	佐鳴湖	不明	貫剤 ドラム缶10本程度							湖に投棄
25	第31海軍航空廠(舞鶴)	第31海軍航空廠(舞鶴)	昭和20年8月						60kgイペリット爆弾約5000発		投棄場所記載なし
26	大阪兵器補給廠祝園	舞鶴沖	昭和20年8月						トラック10台分のあか弾・みどり弾		海中投棄(舞鶴沖)
27	不明	大学設備	昭和20年8月12日,13日	少量							埋設
28	広島陸軍兵器補給廠(三軒屋部隊)	岡山県岡山市	昭和20年11月18日～11月24日						中あか筒 124個 発射あか筒 110個 九四式あか筒 60個		投棄場所記載なし
	同上	同上	昭和20年11月25日～12月1日						小あか筒 100個 中あか筒 79個 発射あか筒 30個		投棄場所記載なし
29	不明	岡山県勝間田の山中	終戦時	詳細不明							山中に投棄

地図記載番号	保有部隊等	廃棄先	年月日	イペリット	ルイサイト	青酸	ジフェニルシアノアルシン	クロロアセトフェノン	砲・爆弾	廃棄(米軍・英軍)	遺棄(旧軍、民間)
30	忠海兵器製造所	大久野島周辺海域	終戦時	ボンベ類 数量、量不明							海中投棄
31	忠海兵器製造所	大久野島 (竹原市)	昭和21年5月～9月18日						クシャミ剤 大65,933個 中123,990個 小44,650個発射筒421,980個	島内防空壕に埋設。海水・さらし粉注入	
	同上	同上		56ton				催涙棒2,820箱 催涙筒1,980箱		焼却	
31	忠海兵器製造所	大久野島 (竹原市)	昭和21年9月～昭和22年5月				ジフェニルシアンアルシン1,390ton			島内に埋設	
	同上	同上	昭和21年11月～昭和22年5月	19ton	40ton	10ton				除毒・焼却後、海中投棄	
	同上	投棄場所記載なし	昭和21年11月～昭和22年5月					10ton		海中投棄	
32	忠海兵器製造所	土佐沖		海中投棄(土佐沖) 毒液1,854ton 毒液缶930ton/7,447缶			990ton/9,901缶	催涙剤7ton/131缶	60kgガス弾13,272個 10kgガス弾 3,036個	海中投棄	
33	広島県江田島第11海軍航空廠	投棄場所記載なし	昭和21年8月頃	イペリット型薬缶11,344個(内容量計						海中投棄	
34	記載無し	阿波島	昭和20年8月または昭和20年10月			チビ(シアン)					焼却
	同上	同上	昭和20年8月または昭和20年10月						あか筒4個入り木枠×50～60箱		退避壕数ヵ所に埋設
	同上	同上	昭和21年1月または昭和21年2月						あか筒約20個×5ヵ所ぐらい	砂浜に埋設	
35	不明	宮島沖	昭和22年か23年						毒ガスである可能性が高い・通常より一回り小さなドラム缶四、五十本	海中投棄	
36	大嶺及び菅根	周防灘(宇部沖)	昭和20年12月						イペリット・ルイサイト弾の弾薬箱約5万箱。計100,000発 イペリット、ルイサイト、くしゃみガスが7, 8割、残りがホスゲン、青酸(数量は数万～十万発としているが不明確である)	海中投棄	
37	菅根兵器製造所	投棄場所記載なし	終戦時						50kg投下「瓦斯弾」1403発、15kg投下あか弾3258発		海中投棄(投棄場所記載無し)
	同上	同上	終戦時						投下きい弾955発、投下あを弾448発、投下あか弾3,000発 計4,403発		海中投棄(投棄場所記載無し)
38	不明	筑後川	昭和20年8月22日頃						トラック3台分		投棄(筑後川河口)
39	小倉士村第21海軍航空廠	投棄場所記載無し	1946年8月頃	イペリット型薬缶7個(内容量計119kg)							海中投棄(投棄海域についての記録はない)
40	菅根兵器製造所	苅田港	昭20年8月20日前後の3日間						ガス弾:50キロ爆弾軽迫撃弾、野山砲弾		海中投棄(小倉北区蔦島付近、苅田港沖、門司区東部の沖合)
41	不明	西合志村	終戦時	イペリット毒ガス300リットル(ドラム缶2本)					イペリット毒ガス300リットル(ドラム缶2本)		井戸に投棄
42	不明	宇土郡三角町	終戦時	イペリットとルイサイト							海中投棄(三角港沖)
43	不明	水俣市	終戦時						演習用催涙弾、くしゃみ弾		海中投棄(水俣沖)
44	第12海軍航空廠(大分)	別府湾	昭和20年8月						ガス弾4,000発		海中投棄(別府湾)
	同上	同上	1945年10月末	イペリット鉄ガメ1,800個(90,000kg)							海中投棄(別府湾豊後水道)
	同上	同上	昭和20年11月25日～12月4日						六番一号陸用爆弾 3,811個	海中投棄(大分港沖と日出港の中間)	
	同上	同上	1946年8月頃海中投棄(投棄海域についての記録はない)	イペリット型薬缶2,351個(内容量計39,967kg)						海中投棄(投棄場所不明)	

４．２．３　戦後における旧軍毒ガス弾等の発見・被災・掃海等の処理状況

（１）　本調査項目について、１の調査項目（旧軍毒ガス弾等の生産・保有状況）と同様に、国内外の資料、政府公報等による情報提供の呼びかけにより、幅広く関連情報を収集した。収集した関連情報は、専門家による助言・検討を踏まえて、取りまとめた。

戦後における毒ガス弾等の発見、被災及び掃海等の処理は図３及び表８のとおりである。

なお、地図中に表示されているのは、発見・被災等が多く見られる事例である。

（２）　被災については、終戦時（昭和２０年）から現在（平成１５年）に至るまで発生している。

掃海については、①浜名湖（昭和２５年）、②別府湾（昭和３０年）、③銚子沖（昭和３４年、４５年）、④大久野島周辺海域（昭和４４年）、⑤周防灘（昭和４７年から昭和４９年まで）、⑥富津沖（昭和５０年）にて実施されている。

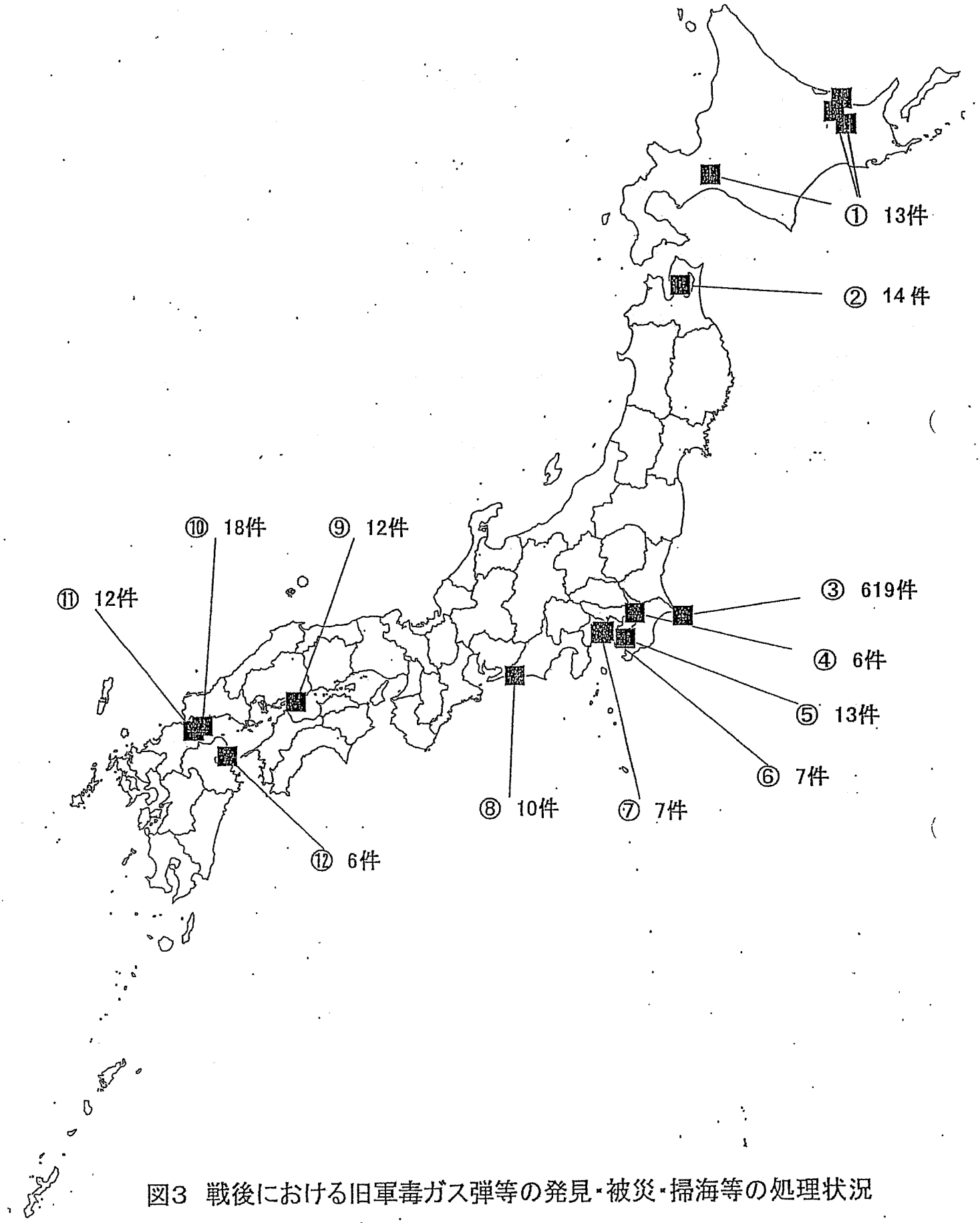

図3 戦後における旧軍毒ガス弾等の発見・被災・掃海等の処理状況

表8　戦後に旧軍毒ガス弾等の発見・被災・掃海等の状況

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
1	被災	0	北海道　札幌市	昭和30年3月14日	ボンベ	米軍千歳キャンプ第３基地野外集積所から掘り出した空ボンベを自衛隊へ引き渡すために作業員が洗浄していたところ、糜爛性ガスにより作業員２０数名が被災し、目が見えなくなったり呼吸困難、火ぶくれの症状があらわれた。自衛隊員約１０名も軽いガス中毒を起こした。
2	処理		北海道　留萌市	昭和37年4月1日	75mm砲弾（くしゃみ弾）　1発	部外爆発物件処理
3	発見		北海道　留萌市	昭和37年6月12～14日	くしゃみ性ガス弾1発	爆破処理
4	被災	1	北海道　標津町	昭和35年7月12～13日	イペリット弾３発	イペリット弾３発発見、６人負傷
5	発見	1	北海道　標津町	昭和35年11月1日	ガス弾1発	焼却処理
6	発見	1	北海道　標津町	昭和42年8月11～15日	毒ガス弾1発	コンクリート密封、海中投棄
7	発見		北海道　稚内市	昭和35年7月27日～8月5日	くしゃみ性ガス１０ｋｇ　２本	焼却処理
8	発見	1	北海道　根室海岸	昭和36年1月12～17日	ガス弾3発	海中投棄
9	発見		北海道　戸井村	昭和37年9月15～23日	くしゃみ性ガス弾1発	発見
10	処理	1	北海道　滝上町	昭和40年5月27日	75mm砲弾（くしゃみ弾）　2発	部外爆発物件処理
11	発見	1	北海道　滝上町	昭和40年6月7～12日	くしゃみ性ガス弾1発	爆破処理
12	発見	1	北海道　釧路沖	昭和40年11月18日	不明（弾）1	海中投棄
13	発見	1	北海道　札幌市	昭和52年11月（日にちの記載なし）	ホスゲン容器1個、毒ガスサンプル6本	ホスゲン容器1個、毒ガスサンプル6本を晒粉で中和した後にコンクリートに詰め、海上自衛隊に海洋投棄を依頼。
14	発見	1	北海道　屈斜路湖	平成8年5月11日～10月19日	砲弾様物件２６発	調査及び揚収。
15	発見	1	北海道　屈斜路湖	平成8年5月12～17日	砲弾１発木箱２０個	北海道が実施した潜水調査を支援し、湖底から21発発見。
16	発見	1	北海道　屈斜路湖	平成8年9月30日～10月20日	100式50kg投下きい弾26	調査、安全化。
17	処理	1	北海道　屈斜路湖	平成12年9月11～11月7日	砲弾２６発（イペリット）	老朽化した化学弾の処理支援に関する第５師団一般命令（12.8.30）
18	発見	2	青森県　陸奥湾	昭和24～26年	当時古物回収業者	爆発物件引揚組合を組織し弾等を引き揚げ、特に危険と思われた毒ガス弾については、龍飛沖の最深部に投棄。
19	被災	2	青森県　陸奥湾	昭和29年頃の4月	イペリット１個	長さ１ｍ位、重さ６０ｋｇ位の羽の付いた弾を引っかけ被災。芦崎湾内川守浜より５０ｍの地点に再投棄。
20	被災	2	青森県　陸奥湾	昭和37年10月2日	ガス弾など６個（爆雷２個を含む）	漁船が魚網にガス弾など６個（爆雷２個を含む）を引っ掛け、陸奥市内の海岸に陸揚げし、海上自衛隊大湊処分隊に届出る。同４日大湊処分隊により爆破処分したが、ガスにより４名被災。
21	被災	2	青森県　陸奥湾	昭和42年9月5日	不明弾10	魚網に腐食した爆弾がかかり二人負傷。
22	被災	2	青森県　陸奥湾	昭和42年頃	直径２０ｃｍ位、長さ約１ｍ、重さ約５０～６０ｋｇ位の毒ガス弾１個。	カレイ漁の2人負傷
23	被災	2	青森県　陸奥湾	昭和43年8月27日（8月28～31日）	イペリット弾	遊泳中に発見した毒ガス弾を切断しようとして被災。死亡1、負傷1。弾は、リンゴ箱の中にコンクリートを詰めて、その中に埋めて収去した。
24	発見	2	青森県　夏泊半島	昭和47年6月24日	40～50kg毒ガス弾(未確認)1	コンクリート密封、海中投棄
25	調査	2	青森県　陸奥湾内	昭和47年7月	毒ガス弾	コンクリート密封、海中投棄
26	調査	2	青森県　むつ湾	昭和47年8月21～31日	毒ガス弾らしき発見物なし。	調査
27	調査	2	青森県　陸奥湾	昭和47年8月29～31日	―	調査
28	発見	2	青森県　むつ湾内	昭和47年10月17日 発見　投棄：昭和47年10月25日	毒ガス弾様弾1	一事業者が、海底写真撮影中に発見。海上自衛隊により下検分したところ、形状外観等から見て毒ガス弾の疑いがあり、コンクリート詰にし、10月25日、日本海に投棄処分。
29	発見	2	青森県　芦崎港	平成15年3月17日	化学弾らしきもの１発	芦崎湾浚渫工事の事前探査（潜水調査）中に業者が化学弾らしき弾を発見した。 当該弾は発見現場の海底に残置し、青森海保による付近３０ｍ四方の投錨禁止処置がとられた。
30	発見	2	青森県　芦崎湾	平成15年3月17日	ガス弾１発	青森県芦崎湾浚渫作業中に業者が水深９メートルの海底から砲弾や弾を発見し、海上自衛隊大湊地方隊はうち１発がガス弾の可能性があると20日に発表。
31	調査	2	青森県　むつ市	平成15年7月11日	毒ガス弾らしき物	青森県による調査。
32	発見		宮城県　仙台市	昭和37年11月8～9日	1962/11/8～9イペリット缶10本発見	除染後埋没処理
33	発見		宮城県　仙台市	昭和38年	旧軍イペリットボンベ	海中投棄
34	発見		宮城県　女川町	昭和52年 8月 7日	３００ポンド弾　１個（ガス弾と断定する要素は少ないが地元にはガス弾の可能性ありと説明）	木箱にコンクリート詰めにし、建設中の岸壁付近の土中に埋設。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
35	処理米国製催涙球		山形県　酒田市	昭和53年11月23日	米国製催涙球１個	海岸で焼却処分
36	被災	3	茨城県　神栖町	平成15年4月15日	ジフェニルアルシン酸	ヒ素に汚染された地下水を飲用としていた6歳以上の23人に運動障害や起立歩行障害など、5歳以下の二人には発育や言語の遅れが診断された。
37	発見	4	茨城県　久慈港（日立市）	昭和60年7月1日～12日	毒ガス容器　くしゃみ剤	コンクリート固形化後日立市に引渡し
38	被災		茨城県　久慈港（日立市）	昭和60年7月2日	強い刺激臭を出している鉄筒不明	漁船が鉄筒を網に引っかけ、堤防の上に放置していたが、近くで遊んでいた子供たちが目や皮膚の痛みを訴えていた。
39	発見		茨城県　鹿島港沖	昭和51年3月5日	毒ガス容器（くしゃみ剤）1	コンクリート詰め、海中投棄
40	発見		茨城県　鹿島港沖	昭和51年7月2日	毒ガス容器（くしゃみ剤）1個 85cm×80cm.	85cm×80cmの毒ガス容器（くしゃみ剤）1個が発見され、第1師団がコンクリート詰めにして一時練馬駐屯地に保管。9月に海洋投棄予定（投棄海域不明）。
41	被災		茨城県　鹿島港沖	平成14年3月26日	イペリット数量は不明	イペリット缶が漁船の網に入り、付着したイペリット剤により３人が軽傷を負った。
42	発見		栃木県　石橋町	昭和48年8月24日～25日	持久ガス現示ガス筒（赤筒等）513	コンクリート密封、汚染土の除染、海中投棄
43	発見		栃木県　石橋町	昭和48年8月25日	催涙薬品（旧軍訓練用）　４０本（新聞記事）	教育施設の改築工事現場の地下から発見、旧軍の訓練用の催涙薬品が入ったブリキ缶と判明し、自衛隊で処理。
44	発見		栃木県　宇都宮市	昭和55年3月3～13日	93式持久ガス現示筒184本（くしゃみ剤ジフェニルシアンアルシン）	93式持久ガス現示筒184本を第コンクリート被覆で密封後、5月9日に海洋投棄（投棄海域については記載なし）。
45	発見		群馬県　沼田町	昭和31年5月25～26日	ガス弾1発	ガス弾1発発見（内容は不明）。
46	発見		群馬県内	昭和37年9月29日	催涙筒30	処理
47	被災	4	千葉県　銚子市	昭和26年4月1日	毒ガス砲弾約19kg　1個	海岸に落ちていた砲弾を拾い、自宅で解体していたところガスが漏れた。被害は死亡４人。
48	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和29年6月24日	イペリットガス弾２発	イペリットガス弾２発、６名負傷
49	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和29年6月29日	60kgイペリット弾２発	爆発物件等引揚業者が作業中に60kgイペリット弾２発を引き揚げて作業員６名が被災した。
50	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和32年9月8日	イペリット	発見
61	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和32年9月9日	イペリット	発見
52	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和32年9月13日	イペリットかん約300kg１本	沖合底びき操業中に１０名被災。
53	被災	4	千葉県　銚子市	昭和33年	イペリットガス弾	網にかかったガス弾を船上で分解しようとして17名が中毒。
54	掃海	4	千葉県　銚子沖	昭和34年6月23日～7月2日	―	掃海
55	掃海	4	千葉県　銚子沖	昭和34年6月25日～7月1日	引き揚げなし	掃海
56	調査	4	千葉県　銚子沖	昭和34年6月25日～7月1日	ガス弾等は引揚げできず。	掃海
57	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和42年9月26日	イペリットと思われるが，詳細は不明。	茨城県の漁船が操業中に被災。５名負傷。
58	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和44年11月	イペリット缶２個	銚子沖掃海作業で、イペリット缶２個発見
59	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和44年11月頃	イペリットと思われるが詳細は不明。	乗組員に目の症状が出たとの記述あり。
60	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和44年11月初旬	詳細は不明。	底びき網操業中にイペリットガス弾と思われるものが網に入った模様。
61	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和45年1月17日	1）イペリットかん約３００Ｋｇ１本　2）イペリットガス弾 重量個数　不明	銚子市の漁船の底引き網にかかり，甲板に引揚後海中投棄。乗組員５名被災。
62	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年1月20日	詳細は不明。	底びき網操業中に危険物が網に入った模様。
63	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和45年1月25日	イペリットガス弾　重量個数　不明	操業中の漁網にガス弾が引っ掛かり、甲板に引揚げた後に海中へ投棄したが、その際容器内の液体が漏出し、乗組員が負傷した。被害は軽傷１０人。
64	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年1月29日	イペリット	発見
65	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年1月	詳細は不明。	底びき網操業中に危険物が網に入った模様。
66	掃海	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月2日～10月2日	イペリット100kg　33	掃海、海中投棄
67	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月2日～9日（掃海実施は3月3・6・9日）	イペリット弾11個	水産庁、防衛庁など10隻と地元漁船35隻、計45隻による掃海。９名負傷。２）48年調査では８名負傷。
68	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月3日	イペリット5	銚子沖イペリット缶等緊急掃海事業(3/1～3/20)
69	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月3日	イペリットかんドラム缶型（大型）１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見
70	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月3日	イペリットかんつぼ型（重量約２００Ｋｇ）１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見
71	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月3日	イペリットかんドラム缶型１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
72	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月6日	イペリットかんドラム缶型１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見
73	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月9日	イペリットかんつぼ型（重量約２００Ｋｇ）１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見
74	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年3月9日	イペリットかんドラム缶型１個	銚子沖イペリットかん緊急掃海事業従事の千葉県機船底曳漁業協同組合所属船により発見
75	掃海	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月16日	イペリット5	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
76	掃海	4	銚子地区	昭和45年9月16日～10月2日	イペリット缶22	48年調査に記載以外資料無し
77	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月16日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
78	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月17日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
79	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月17日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
80	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月17日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
81	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月17日	イペリット6	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
82	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月21日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
83	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月21日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
84	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月21日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
85	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月21日	イペリット3	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
86	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月22日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
87	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月22日	イペリット1	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
88	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
89	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
90	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
91	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
92	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
93	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年9月23日	イペリット5	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
94	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年10月2日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
95	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年10月2日	イペリット弾と思われる物１個，重量等は記述なし。	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
96	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和45年10月2日	イペリット2	銚子沖イペリット缶等第二次掃海事業(9/16～10/2)
97	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月6日	イペリット弾１個	操業中の漁船が引き上げ、海上保安庁の巡視船が引き取り、一の島の東55kmの投棄場に改めて投棄処分
98	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月6日	不明	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
99	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月6日	イペリット1	操業中に引揚。
100	発見	12	千葉県　銚子沖	昭和46年10月6日～昭和47年1月10日	イペリット缶引き揚げ事件30件発生	イペリット缶引き揚げ事件30件発生。巡視船などにより海洋投棄。
101	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月22日	イペリット2	操業中に引揚。
102	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
103	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
104	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月25日	不明	漁船が揚収、漁網破損により海没。
105	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月29日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
106	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年10月29日	イペリット1	操業中に引揚。
107	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月10日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、曳航開始時ロープ切断、海没。
108	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月10日	イペリット1	操業中に引揚。
109	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月13日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
110	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月13日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
111	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
112	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
113	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月20日	イペリット2	操業中に引揚。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
114	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月20日	イペリット2	操業中に引揚。
115	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月21日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
116	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月21日	イペリット2	操業中に引揚。
117	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月25日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
118	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年11月25日	イペリット1	操業中に引揚。
119	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月2日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、曳航中ロープ切断、海没。
120	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月2日	イペリット1	操業中に引揚。
121	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月4日	不明	漁船が揚収、巡視船が確認、内容物流失により現場で投棄。
122	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月4日	イペリット1	操業中に引揚。
123	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月5日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
124	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月5日	イペリット1	操業中に引揚。
125	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月10日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
126	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月10日	イペリット1	操業中に引揚。
127	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月11日	イペリット2	操業中に引揚。
128	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月11日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
129	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月14日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
130	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月14日	イペリット1	操業中に引揚。
131	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月16日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
132	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月16日	イペリット1	操業中に引揚。
133	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月17日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
134	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月17日	イペリット1	操業中に引揚。
135	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月19日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
136	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月19日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
137	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
138	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月19日	イペリット3	操業中に引揚。
139	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月21日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。巡視船が確認。
140	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月21日	イペリット1	操業中に引揚。
141	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、ロープ切断のため海没。
142	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年12月23日	イペリット1	操業中に引揚。
143	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和46年～58年	イペリットかん２５３個	
144	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月8日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
145	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月8日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、漁網破損により海没。
146	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月8日	イペリット2	操業中に引揚。
147	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月10日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
148	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月10日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
149	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年1月10日	イペリット2	操業中に引揚。
150	発見		岐阜県　中津川市	昭和47年8月3日	旧軍持久ガス現示筒等99	コンクリート密封、海中投棄
151	発見		岐阜県　中津川市	昭和47年8月3日	持久ガス現示筒　計９９本	旧陸軍演習場において、持久ガス現示筒等が発見され、処理を実施。
152	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月18日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
153	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月18日	イペリットガス缶重量不明・1個	底曳網漁船がガス缶を引き上げ、巡視船に引き渡し。
154	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月18日	イペリット1	操業中に引揚。
155	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月19日	イペリットガス缶　重量不明　２個	底曳網漁船がガス缶を引き上げた。処理不明。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
156	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月19日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
157	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月19日	小型２ケ	漁船が揚収、巡視船が引取、魚網が破損し買い没。
158	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年10月19日	イペリット2	操業中に引揚。
159	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月5日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
160	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月5日	イペリット1	操業中に引揚。
161	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月10日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
162	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月10日	イペリット1	操業中に引揚。
163	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
164	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
165	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
166	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
167	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月14日	イペリット4	操業中に引揚。
168	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月15日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
169	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月15日	イペリット1	操業中に引揚。
170	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
171	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、魚網破損のため海没、巡視船が確認。
172	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視船が確認。
173	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
174	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	イペリット5	操業中に引揚。
175	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
176	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月18日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
177	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月18日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
178	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月18日	イペリット2	操業中に引揚。
179	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
180	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
181	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月22日	イペリット2	操業中に引揚。
182	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月24日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
183	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月24日	イペリット1	操業中に引揚。
184	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月27日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、ロープ切断のため海没。
185	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月27日	イペリット1	操業中に引揚。
186	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月29日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
187	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月29日	イペリット1	操業中に引揚。
188	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月30日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、魚網破損のため海没。
189	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月30日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
190	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年11月30日	イペリット2	操業中に引揚。
191	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月3日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
192	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月3日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
193	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月3日	イペリット2	操業中に引揚。
194	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月6日	不明	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
195	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月6日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
196	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月6日	イペリット2	操業中に引揚。
197	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月7日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が会合するもロープ切断海没。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
198	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月7日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
199	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月7日	イペリット2	操業中に引揚。
200	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月11日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
201	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月11日	イペリット1	操業中に引揚。
202	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月12日	ドラム缶	漁船が揚収、液流出のため自船投棄。
203	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月12日	イペリット1	操業中に引揚。
204	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月14日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
205	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月14日	イペリット1	操業中に引揚。
206	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月15日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が確認するも、ロープ切断海没。
207	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月15日	イペリット1	操業中に引揚。
208	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
209	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月22日	イペリット1	操業中に引揚。
210	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、ロープ切断海没。
211	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和47年12月23日	イペリット1	操業中に引揚。
212	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年1月10日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
213	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年1月10日	イペリット1	操業中に引揚。
214	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年2月13日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
215	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年2月13日	イペリット1	操業中に引揚。
216	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年3月7日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
217	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年3月7日	イペリット1	操業中に引揚。
218	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月14日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
219	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月14日	イペリット1	操業中に引揚。
220	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月20日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
221	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月20日	イペリット1	操業中に引揚。
222	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月28日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
223	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年4月28日	イペリット1	操業中に引揚。
224	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年9月17日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
225	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年9月17日	イペリット1	操業中に引揚。
226	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年10月2日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
227	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年10月2日	イペリット1	操業中に引揚。
228	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年10月16～19日、	イペリット缶らしいもの1個の目撃情報	地元のレジャーダイバーがイペリット缶らしいものを発見したとの情報から出動したが、海上模様不良により捜索を断念した。
229	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年10月27日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄、巡視艇が確認。
230	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年10月27日	イペリット1	操業中に引揚。
231	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月4日	イペリット1	操業中に引揚。
232	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月4日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
233	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
234	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月14日	イペリット1	操業中に引揚。
235	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月16日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
236	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月16日	イペリット1	操業中に引揚。
237	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月21日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
238	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月21日	イペリット1	操業中に引揚。
239	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月24日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
240	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月24日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
241	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月24日	不明	漁船が揚収、自船投棄。
242	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月24日	イペリット3	操業中に引揚。
243	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月26日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
244	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月26日	イペリット1	操業中に引揚。
245	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月27日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
246	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月27日	イペリット1	操業中に引揚。
247	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
248	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年11月29日	イペリット1	操業中に引揚。
249	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月3日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
250	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月3日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、曳索切断、海没。漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
251	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月3日	イペリット2	操業中に引揚。
252	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月4日	つぼ	発見
253	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月4日	イペリット1	操業中に引揚。
254	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月6日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、曳索切断、海没。
255	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月6日	イペリット1	操業中に引揚。
256	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月10日	小型	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
257	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月10日	イペリット1	操業中に引揚。
258	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月14日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
259	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月14日	イペリット1	操業中に引揚。
260	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月19日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
261	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月19日	イペリット1	操業中に引揚。
262	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月21日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
263	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月21日	イペリット1	操業中に引揚。
264	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月26日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、曳索切断、海没。
265	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月26日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
266	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年12月26日	イペリット2	操業中に引揚。
267	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和48年度	不明	漁船が揚収、巡視船が引取。
268	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月8日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
269	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月8日	イペリット1	操業中に引揚。
270	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月10日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
271	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月10日	イペリット1	操業中に引揚。
272	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月11日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
273	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月11日	イペリット1	操業中に引揚。
274	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月12日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、曳索切断、海没。
275	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月12日	イペリット1	操業中に引揚。
276	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月15日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
277	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月15日	イペリット1	操業中に引揚。
278	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月17日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
279	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月17日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
280	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月17日	イペリット2	操業中に引揚。
281	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月18日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
282	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月18日	イペリット1	操業中に引揚。
283	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年1月20日	イペリット1	操業中に引揚。
284	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年3月6日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。
285	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年3月6日	イペリット1	操業中に引揚。
286	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年3月14日	イペリット1	操業中に引揚。
287	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年3月16日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。
288	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年5月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。
289	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年5月29日	イペリット1	操業中に引揚。
290	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月3日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
291	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月3日	イペリット弾1個	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
292	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月4日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
293	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月4日	イペリット1	操業中に引揚。
294	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月12日	イペリット弾1個（直径30cm、高さ50cm）	銚子漁港岸壁拡張工事現場で、海底をさらって旧軍の砲弾探しを行っていた浚渫船が土砂とともに引き上げ、流れ出た茶色の液体により１名負傷。
295	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月13日	砲弾	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
296	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月13日	イペリット1	操業中に引揚。
297	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月14日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
298	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年11月14日	イペリット1	操業中に引揚。
299	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月2日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。
300	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月2日	イペリット1	操業中に引揚。
301	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月9日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
302	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月9日	イペリット1	操業中に引揚。
303	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月10日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、曳索切断海没。
304	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月10日	イペリット1	操業中に引揚。
305	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
306	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月20日	イペリット1	操業中に引揚。
307	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月29日	イペリット1	操業中に引揚。
308	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和49年12月29日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄、巡視艇が確認。
309	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年1月12日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
310	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年1月12日	イペリット1	操業中に引揚。
311	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年1月20日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
312	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年4月20日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
313	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年4月20日	イペリット1	操業中に引揚。
314	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年5月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
315	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年5月17日	イペリット1	操業中に引揚。
316	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月3日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
317	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月3日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
318	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月3日	イペリット2	操業中に引揚。
319	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月4日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
320	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月4日	イペリット1	操業中に引揚。
321	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月5日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
322	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月5日	イペリット1	操業中に引揚。
323	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月9日	ガス弾らしきもの１個（長さ約50cm径10cm円筒形）	手に持って海中投棄。帰投後左手首に水泡ができ通院加療。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
324	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月15日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
325	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年9月15日	イペリット1	操業中に引揚。
326	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年10月18日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
327	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年10月18日	イペリット1	操業中に引揚。
328	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年10月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
329	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年10月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
330	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年10月29日	イペリット2	操業中に引揚。
331	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月13日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
332	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月13日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
333	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月13日	イペリット2	操業中に引揚。
334	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
335	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
336	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和50年12月23日	イペリット2	操業中に引揚。
337	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月11日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
338	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月11日	イペリット1	操業中に引揚。
339	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月12日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
340	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月12日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、ロープ切断海没。
341	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月12日	イペリット2	操業中に引揚。
342	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月16日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
343	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月16日	イペリット1	操業中に引揚。
344	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
345	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月17日	イペリット1	操業中に引揚。
346	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月18日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
347	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月18日	イペリット1	操業中に引揚。
348	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月20日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
349	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月20日	イペリット1	操業中に引揚。
350	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月21日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
351	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月21日	イペリット1	操業中に引揚。
352	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月26日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
353	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月26日	イペリット1	操業中に引揚。
354	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月27日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
355	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月27日	イペリット1	操業中に引揚。
356	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月28日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
357	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月28日	イペリット1	操業中に引揚。
358	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月29日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
359	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年1月29日	イペリット1	操業中に引揚。
360	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月3日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
361	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月3日	イペリット1	操業中に引揚。
362	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月10日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
363	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月10日	イペリット1	操業中に引揚。
364	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月14日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
365	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月14日	イペリット1	操業中に引揚。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
366	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月15日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
367	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年2月15日	イペリット1	操業中に引揚。
368	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年3月23日	イペリット1	操業中に引揚。
369	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年3月24日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
370	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年4月12日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
371	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年4月12日	イペリット1	操業中に引揚。
372	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年4月29日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
373	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年4月29日	イペリット1	操業中に引揚。
374	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年5月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
375	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年5月29日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
376	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年5月29日	イペリット2	操業中に引揚。
377	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年6月6日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
378	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年6月6日	イペリット1	操業中に引揚。
379	被災	4	千葉県　銚子沖	昭和51年9月3日	イペリット数量は不明	漁業者が小型底引き船で操業中，網に付着したイペリット剤（ゼリー状の塊）に触れ，５人が重軽傷を負った。
380	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月11日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
381	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月11日	イペリット1	操業中に引揚。
382	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、網切断海投。
383	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月20日	イペリット1	操業中に引揚。
384	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
385	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月22日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
386	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月22日	イペリット2	操業中に引揚。
387	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月27日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
388	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年10月27日	イペリット1	操業中に引揚。
389	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年12月14日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
390	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年12月14日	イペリット1	操業中に引揚。
391	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年12月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
392	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年12月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
393	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年12月20日	イペリット2	操業中に引揚。
394	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和51年度～平成5年度	イペリット155缶	海上保安庁に通報のあった銚子沖イペリット缶発見事実の確認
395	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月8日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
396	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月8日	イペリット1	操業中に引揚。
397	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月12日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
398	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月12日	イペリット1	操業中に引揚。
399	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
400	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月19日	イペリット1	操業中に引揚。
401	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月30日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
402	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年1月30日	イペリット1	操業中に引揚。
403	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年2月5日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
404	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年2月6日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
405	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年2月6日	イペリット1	操業中に引揚。
406	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年2月25日	イペリット1	操業中に引揚。
407	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年4月24日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
408	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年4月24日	イペリット1	操業中に引揚。
409	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年5月12日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
410	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年5月12日	イペリット1	操業中に引揚。
411	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年5月17日	イペリット1	操業中に引揚。
412	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年5月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
413	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年9月6日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
414	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年9月6日	イペリット1	操業中に引揚。
415	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年9月28日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
416	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年9月28日	イペリット1	操業中に引揚。
417	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年10月26日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
418	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年10月26日	イペリット1	操業中に引揚。
419	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年10月30日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
420	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年10月30日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
421	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年10月30日	イペリット2	操業中に引揚。
422	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年12月1日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
423	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和52年12月11日	イペリット1	操業中に引揚。
424	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年1月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
425	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年1月19日	イペリット1	操業中に引揚。
426	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年1月29日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
427	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年1月29日	イペリット1	操業中に引揚。
428	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年2月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
429	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年2月19日	イペリット1	操業中に引揚。
430	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年2月22日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
431	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年2月22日	イペリット1	操業中に引揚。
432	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年3月6日	イペリット1	操業中に引揚。
433	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年3月6日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
434	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年3月27日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
435	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年3月27日	イペリット1	操業中に引揚。
436	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月2日	イペリット1	操業中に引揚。
437	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月9日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
438	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月9日	イペリット1	操業中に引揚。
439	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
440	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月20日	イペリット1	操業中に引揚。
441	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月24日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
442	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年4月24日	イペリット1	操業中に引揚。
443	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月22日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
444	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月22日	イペリット1	操業中に引揚。
445	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月24日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
446	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月24日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
447	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月24日	イペリット2	操業中に引揚。
448	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月25日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
449	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月25日	イペリット1	操業中に引揚。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
450	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月27日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
451	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月27日	イペリット1	操業中に引揚。
452	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月28日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
453	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年5月28日	イペリット1	操業中に引揚。
454	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年6月14日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
455	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年6月14日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
456	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年6月14日	イペリット2	操業中に引揚。
457	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年6月23日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
458	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年6月23日	イペリット1	操業中に引揚。
459	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月3日	イペリット1	操業中に引揚。
460	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月3日	不明	漁船が揚収、自船投棄。
461	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月4日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
462	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月4日	イペリット1	操業中に引揚。
463	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月8日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
464	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月8日	イペリット1	操業中に引揚。
465	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月26日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
466	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年9月26日	イペリット1	操業中に引揚。
467	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年10月12日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
468	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年10月12日	イペリット1	操業中に引揚。
469	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月12日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
470	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月12日	イペリット1	操業中に引揚。
471	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月15日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
472	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月15日	イペリット1	操業中に引揚。
473	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
474	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年11月17日	イペリット1	操業中に引揚。
475	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年12月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
476	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年12月17日	イペリット1	操業中に引揚。
477	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年12月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
478	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和53年12月23日	イペリット1	操業中に引揚。
479	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年1月9日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
480	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年1月9日	イペリット1	操業中に引揚。
481	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年1月16日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
482	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年1月16日	イペリット1	操業中に引揚。
483	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年2月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
484	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年2月17日	イペリット1	操業中に引揚。
485	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年2月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
486	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年2月19日	イペリット1	操業中に引揚。
487	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月19日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
488	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月19日	イペリット1	操業中に引揚。
489	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月27日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
490	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月27日	イペリット1	操業中に引揚。
491	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月30日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
492	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年3月30日	イペリット1	操業中に引揚。
493	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年4月16日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
494	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年4月16日	イペリット1	操業中に引揚。
495	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年5月11日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
496	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年6月21日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
497	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年6月21日	イペリット1	操業中に引揚。
498	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月7日	イペリット1	操業中に引揚。
499	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月7日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
500	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月14日	イペリット1	操業中に引揚。
501	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
502	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
503	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月14日	イペリット1	操業中に引揚。
504	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年9月19日	ドラム缶	漁船が揚収、漁網切断海没。
505	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月4日	イペリット1	操業中に引揚。
506	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月4日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
507	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月12日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
508	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月12日	イペリット1	操業中に引揚。
509	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月13日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
510	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月13日	イペリット1	操業中に引揚。
511	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月15日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
512	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月15日	イペリット1	操業中に引揚。
513	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月25日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
514	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月25日	イペリット1	操業中に引揚。
515	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月28日	イペリット1	操業中に引揚。
516	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月28日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
517	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月30日	つぼ	漁船が揚収、自船投棄。
518	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月30日	イペリット1	操業中に引揚。
519	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月31日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
520	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年10月31日	イペリット1	操業中に引揚。
521	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月3日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
522	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月3日	イペリット1	操業中に引揚。
523	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月17日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
524	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月17日	イペリット1	操業中に引揚。
525	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月30日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
526	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年11月30日	イペリット1	操業中に引揚。
527	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年12月15日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
528	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和54年12月15日	イペリット1	操業中に引揚。
529	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月12日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
530	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月12日	イペリット1	操業中に引揚。
531	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月21日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
532	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月21日	イペリット1	操業中に引揚。
533	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月27日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
534	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月27日	イペリット2	操業中に引揚。
535	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年1月27日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
536	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年2月15日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
537	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年2月15日	イペリット1	操業中に引揚。
538	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年2月20日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
539	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年2月20日	イペリット1	操業中に引揚。
540	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年5月8日	イペリット2	操業中に引揚。
541	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年5月8日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
542	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年5月8日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
543	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年5月11日	イペリット2	操業中に引揚。
544	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年6月8日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
545	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年6月8日	イペリット1	操業中に引揚
546	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年6月26日	つぼ	漁船が揚収、網破損、海没。
547	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年6月28日	イペリット1	操業中に引揚
548	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年6月28日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
549	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年9月3日	イペリット1	操業中に引揚
550	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年9月22日	ドラム缶	漁船が揚収、自船投棄。
551	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年9月22日	イペリット1	操業中に引揚
552	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月8日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
553	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月8日	イペリット1	操業中に引揚
554	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月10日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
555	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月10日	イペリット1	操業中に引揚
556	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月16日	ガス弾１個（L1．３５m，φ０．２５m）	泊地浚渫予定箇所の磁気探査による異常点より発見、陸上自衛隊に引渡し処理被災なし
557	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年10月18日	ガス弾１個（L1．３５m，φ０．２５m）	泊地浚渫予定箇所の磁気探査による異常点より発見、陸上自衛隊に引渡し処理。被災なし。
558	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年11月4日	イペリット1	操業中に引揚
559	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年11月4日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
560	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年11月20日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
561	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和55年11月20日	イペリット1	操業中に引揚
562	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月17日	イペリット1	操業中に引揚
563	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月17日	不詳	漁船が揚収、自船で投棄。
564	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月17日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
565	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月17日	イペリット1	操業中に引揚
566	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月29日	イペリット1	操業中に引揚
567	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月29日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
568	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月29日	不明	漁船が揚収、自船で投棄。
569	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年1月29日	イペリット1	操業中に引揚
570	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年6月11日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄、巡視船が誘導、投棄確認。
571	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年6月11日	イペリット1	操業中に引揚
572	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年9月10日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
573	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年9月10日	イペリット1	操業中に引揚
574	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年9月24日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
575	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年9月24日	イペリット1	操業中に引揚

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
576	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年10月13日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
577	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年10月13日	イペリット1	操業中に引揚
578	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月4日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
579	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月4日	イペリット1	操業中に引揚
580	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月14日	イペリット1	操業中に引揚
581	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月14日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
582	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月21日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
583	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和56年11月21日	イペリット1	操業中に引揚
584	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年1月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
585	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年1月23日	イペリット1	操業中に引揚
586	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年2月14日	イペリット1	操業中に引揚
587	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年2月14日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
588	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年4月12日	イペリット1	操業中に引揚
589	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年4月12日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
590	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年5月16日	イペリット1	操業中に引揚。
591	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年5月16日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄。
592	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年5月18日	イペリット1	操業中に引揚。
593	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年5月18日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
594	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年6月26日	つぼ	漁船第が揚収、自船で投棄。
595	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年6月26日	イペリット1	操業中に引揚
596	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年10月4日	ドラム缶	漁船第が揚収、自船で投棄。
597	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年10月4日	イペリット1	操業中に引揚
598	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年11月20日	イペリット1	操業中に引揚
599	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年11月20日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
600	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年12月16日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
601	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年12月16日	イペリット1	操業中に引揚
602	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年12月24日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
603	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和57年12月24日	イペリット1	操業中に引揚
604	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年1月7日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄
605	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年1月10日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄、巡視船が確認。
606	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年1月18日	ドラム缶	漁船が揚収、曳航中ロープ切断、巡視船が確認。
607	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年1月23日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
608	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年3月6日	イペリット1	操業中に引揚
609	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年3月6日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
610	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年4月8日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
611	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年9月20日	イペリット1	操業中に引揚
612	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年9月20日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
613	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年10月28日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
614	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年12月10日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄、巡視船が確認。
615	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年12月11日	つぼ	漁船が揚収、自船で投棄。
616	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和58年12月26日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄
617	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年1月8日	つぼ	漁船第が揚収、巡視船が引取、投棄。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
618	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年1月15日	不明	漁船が揚収、待機中網破損、海没。
619	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年1月15日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄、巡視船が確認。
620	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年5月5日	イペリット1	操業中に引揚
621	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年5月5日	不明	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
622	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年6月16日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
623	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年6月21日	不明	漁船が揚収、巡視船が引取、指定場所投棄。
624	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年6月25日	イペリット1	操業中に引揚
625	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年6月25日	缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
626	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年9月4日	缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
627	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和59年12月4日	缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
628	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月11日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
629	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月11日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
630	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月17日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
631	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月17日	イペリットガスかんドラム型１個	漁船が操業中に入網。
632	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月22日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
633	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年4月22日	つぼ	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
634	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年5月19日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
635	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和60年5月19日	不明	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
636	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年4月8日	イペリット1	操業中に引揚
637	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年4月8日	缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
638	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年9月25日	イペリット1	操業中に引揚
639	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年9月25日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
640	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年12月11日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
641	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和61年12月11日	イペリットガスかんドラム型１個	漁船が操業中に入網。
642	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和62年2月10日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
643	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和62年2月10日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
644	発見	4	千葉県　銚子沖	昭和62年3月27日	不明	漁船が揚収、曳航中ロープが切断。
645	発見	4	千葉県　銚子沖	平成1年4月2日	イペリット1	操業中に引揚
646	発見	4	千葉県　銚子沖	平成1年4月2日	不明	漁船が揚収、巡視船が指定場所に誘導。自船で投棄。
647	発見	4	千葉県　銚子沖	平成1年9月14日	ドラム缶	漁船が揚収、自船で投棄
648	発見	4	千葉県　銚子沖	平成1年9月14日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
649	発見	4	千葉県　銚子沖	平成1年9月14日	イペリット1	操業中に引揚。
650	発見	4	千葉県　銚子沖	平成4年2月23日	イペリットガスかんつぼ型１個	漁船が操業中に入網。
651	発見	4	千葉県　銚子沖	平成4年2月23日	ドラム缶	漁船が揚収、巡視船が引取、投棄。
652	発見	4	千葉県　銚子沖	平成4年2月23日	イペリット1	操業中に引揚
653	発見	4	千葉県　銚子沖	平成14年3月26日	イペリット1	操業中に引揚。
654	発見	4	千葉県　銚子沖	平成14年3月26日	缶１	漁船が揚収、４月７日巡視船により指定海域（銚子一の島灯台から真方位７０度３２海里）に投棄。
655	発見		広島県　広島市	平成15年8月5日	液体が封入されたガラス容器	家屋改修の際に、液体が封入されたガラス容器が見つかった。
656	被災	4	千葉県　習志野	昭和26年6月28日	ルイサイト入りの缶３本	14名負傷。
657	処理	4	千葉県　習志野	昭和26年10月24日	アメリカ軍	連合軍総司令部は、埋設されていた日本軍の毒ガスを千葉県習志野の米軍兵舎内で焼却処分すると発表。
658	発見	5	千葉県　習志野	昭和35年2月17～19日	ルイサイト入りの缶１個	ルイサイト入りの缶１個発見
659	発見	5	千葉県　習志野	昭和35年3月4～11日	催涙剤（固体）10kg	海中投棄

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
660	被災	5	千葉県　千葉市	昭和37年1月～8月	イペリットガス弾９個	農場開墾中に迫撃砲弾９個を発見。同年8月22日、その内1個を持ち帰った人が弾頭を分解しようとしてガスが噴出し、2人が火傷のような症状を起こす。残りの8個は8月23日に習志野自衛隊弾処理班に引き渡した。
661	発見	5	千葉県　習志野	昭和37年8月21日	イペリット弾８発	発見
662	発見	5	千葉県　習志野	昭和37年9月	イペリット弾２発	
663	発見	5	千葉県　習志野	昭和39年11月18日	毒物ボンベ6本	コンクリート密封、海中投棄
664	発見	4	千葉県　千葉市	昭和45年6月8～12日	イペリット容器4個	コンクリート密封、海中投棄
665	発見	4	千葉県　習志野	昭和45年12月4日	イペリットとシアン〔青酸か〕入り容器100本	海中投棄
666	被災	6	千葉県　富津沖	昭和50年6月19日	イペリット，ルイサイト等びらん性ガスと思われる。物体の形状：長さ６０ｃｍ，径２０ｃｍ。黒色で両端が円錐状。	発見状況は不明。物体は危険を感じたので現場に投棄。乗組員２名に水疱ができ，通院加療を行った。
667	被災	6	千葉県　富津沖	昭和50年9月7日	イペリット，ルイサイトなどびらん性ガスと思われる。物体の形状：長さ５０ｃｍ，径約２０ｃｍ。円筒形。重量２０～３０Ｋｇ。	漁船が底引き網にて操業中に入網。物体は現場に投棄。投棄時に飛まつを浴び乗組員２名に水疱ができ、通院加療を行う。
668	被災	6	千葉県　富津沖	昭和50年10月10日	不明	手首に被害。１名負傷
669	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月9日～18日	60kg弾（イペリット）6	コンクリート詰め、海中投棄
670	被災	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月12～19日	イペリット弾2個（昭和50年11月15日までの引き揚げ数）	水産庁、環境庁、厚生省、防衛庁、海上保安庁、千葉県の合同掃海作業。２名負傷。
671	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月14日	６０Ｋｇイペリット弾（長さ約８５ｃｍ，径２５ｃｍ）	富津沖合緊急掃海事業
672	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月14～17日	化学弾（イペリット）らしいもの　２個	漁船が操業中に網に入った。ガス検知器には反応しなかったが、イペリット臭があった。　ドラム缶に入れコンクリート詰めにし、所要の汚染防止処置を実施した。
673	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月14～15日	60kgイペリット弾，60kgイペリット弾の頭部（約30kg）	富津沖合緊急掃海事業
674	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月15日	６０Ｋｇイペリット弾頭部。重量約３０Ｋｇ。	富津沖合緊急掃海事業
675	発見	6	千葉県　富津沖	昭和50年11月15日	イペリット1	富津沖合緊急掃海事業
676	被災	6	千葉県　富津沖	昭和53年7月5日	イペリット弾。長さ１ｍ，直径５０ｃｍ。	発見状況の詳細不明。１名負傷，全治１ヶ月。
677	発見	6	千葉県　富津沖	昭和55年6月25日	イペリット弾と思われる物体。	発見状況の詳細は不明。
678	発見	6	千葉県　富津沖	昭和55年7月9～11日	ガス弾らしいもの（鉄製の容器で中身なし。）寸法形状不明	漁船が操業中に網に入った。横須賀水中処分隊と陸自化学処理員と協同で実施した。
679	発見	4	千葉県　千葉市	昭和45年6月5日	イペリット入りドラム缶大小計８本	千葉市の住宅建設現場（旧陸軍高射砲学校跡地）の地下約２メートルからイペリット入りドラム缶大小計８本発見
680	処理	4	千葉県　松戸市	昭和57年8月13日	直径７cm長さ16cmの催涙臭のする円筒６個	一般不発弾と共にコンクリート詰め（その後の処理については記載がない）
681	発見		東京都　新宿区	昭和30年7月	イペリットルイサイトの缶12個	都内でイペリットルイサイトの缶12個発見
682	被災		東京都　江東区	昭和25年4月3日	ボンベ（塩素ガスの疑いあり）	江東区で戦時中のものと思われるボンベをハンマーで叩いているうちにガスが噴出し、子どもを含む６名が重体。
683	被災		東京都　台東区	昭和25年12月	イペリット缶約50本	「第六陸軍技術研究所」（毒ガス研究所）と記されたイペリット缶約50本を夢の島で中和処分。保管中に、缶を物色した男性が手や顔に傷害を負った。
684	発見		神奈川県　横浜市	昭和37年7月	イペリットボンベ1	調査、処分不明
685	被災	7	神奈川県　寒川町	昭和20年　終戦直後	軍手に付着したイペリット	寒川の相模海軍工廠跡地内にあった軍手にイペリットが付着していて被災。
686	発見	7	神奈川県　寒川町	平成13年1月15日（不審物発見）平成13年２月16日（防衛庁から不審物の内容物のサンプル調査結果の通知書が神奈川県に送付される）	きい剤補給容器様物体×１（化学分析の結果有毒化学剤は検出されなかた。）	工場敷地内で掘削工事中に地表から50cmの地中から不審物が発見された。
687	発見	7	神奈川県　寒川町	平成13年1月16日	イペリット缶	寒川の民間企業の敷地内（相模海軍工廠所在地）を工事中に、毒ガスボンベらしい物体を地中から発見。後に、毒性はないことを確認。
688	被災	7	神奈川県　寒川町	平成14年9月25～27日	1）ビール瓶11本（マスタード９本、ルイサイト１本、クロロアセトフェノン１本）また、土壌調査で、マスタード、ルイサイト、クロロアセトフェノンの関連化合物（アセトフェノン）、ジフェニルクロロアルシンを確認　2）イペリットとクロロアセトフェノン、ビールビン約10本	さがみ縦貫道路の橋脚工事現場でビン数本が出土しビンが割れ異臭が生じ、数日後、発疹かぶれ炎症等びらん症状（中等症入院せず）を発症した。被災者１１名。
689	発見		神奈川県　平塚市	昭和20年代	イペリットの入ったビン（10数本？）	敷地内を整理中に、イペリットの入ったビンが出てきた。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
690	発見	8	神奈川県・平塚市	昭和34年5月	迫撃砲弾など約８０発ガス弾や正体の分からぬ弾丸約５０発	建築現場の土中から発見され、陸上自衛隊不発弾処理班により処理された。
691	発見	8	神奈川県　平塚市	昭和35年6月5～6日	不明	詳細窓不明
692	発見	8	神奈川県　平塚市	昭和43年3月10～29日	クシャミ剤の原料（フェニル亜砒酸）約５０トン	
693	発見	8	神奈川県　平塚市	昭和52年6月10日	ベークライト製および金属製容器（くしゃみ剤）数種類計120kg	ビニール袋に封入後、ドラム缶にコンクリート詰にし、6月24日海洋投棄（投棄海域不明）
694	発見	8	神奈川県　平塚市	昭和52年6月	イペリットガス弾らしき空の砲弾８５発	建築現場の土中から発見され、陸上自衛隊により処理。
695	発見	8	神奈川県　平塚市	平成13年4月19日（不審物発見）	木箱に入った瀬戸物製の容器（直径４０cm高さ４５cm）	建物解体のため倉庫内を清掃中に発見。
696	被災	8	神奈川県　平塚市	平成15年4月3日（発生）	ビン３本（球状瓶３本、広口瓶１本）【中身】球状瓶A23%程度の硫酸水溶液球状瓶B1.5%程度の硫酸水溶液とグラスウール球状瓶C破損し内容物なし広口瓶土壌の混入した中性水溶液土壌からマスタード等が検出されている。事前調査の試掘で、ガラス瓶等２０本（うち１本から青酸、土壌から微量の化学剤関連化合物検出）発見	建設現場において、作業員３名が、出土して割れたビンを確認しているうちに、気分が悪くなり病院へ搬送された。
697	被災		神奈川県　湯河原町	昭和20年～　終戦後数年の頃	イペリット	第六陸軍技術研究所近くで、廃材に座っていて被災。
698	被災		神奈川県　茅ヶ崎市	昭和58年6月2日	催涙性ガス手投弾300発以上	敗戦直前に海軍砲術学校が借り受けていた教育施設の敷地内を工事中、300発以上のガス弾を発見し、作業員３名が炎症を起こした。鑑定の結果、催涙性ガス手投弾と判明。
699	被災		神奈川県　横須賀市	昭和29年2月21日	60kgイペリット弾（数量は断定されていない）	爆発物件等解撤業者において60kg弾121個を解撤中作業員５名が被災した。
700	発見		神奈川県　横須賀市	昭和29年3月24～31日	イペリットガス弾	横須賀港掃海作業でイペリットガス弾発見（数量不明）
701	発見		神奈川県　横須賀市	昭和29年7月7日～8月6日	イペリットガス弾306発	横須賀港掃海作業でイペリットガス弾306発発見
702	処理		神奈川県　茅ヶ崎市	昭和58年6月2日発見。同8日に処理	催涙手投げ弾など109個	催涙剤であるため演習場で晒粉乳液で除染処理。
703	発見		神奈川県　川崎市	昭和37年5月	イペリットボンベ12	処理要領等不明
704	発見		神奈川県　川崎市	昭和37年5月25日	旧軍毒ガスボンベ9	検知、内容物なし
705	被災		福井県内	昭和38年3月16日	イペリット弾1発	３人負傷
706	被災		静岡県　浜名湖周辺	昭和20年年8月16、17日	イペリットルイサイトの缶4～5本	付近の住民が浮かんだ缶にふれ負傷。
707	被災	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和22年7月16日	ドラム缶１缶	浜名湖上に浮かんでいた毒ガス缶の蓋を開けて細江の漁民２名が死亡。同じ頃、付近の農民も浮いていた容器にふれて両手に水疱ができる。
708	掃海	9	静岡県・浜名湖周辺	昭和25年	不明	国は浜名湖を掃海し，遠州灘へ投棄。
709	被災	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和27年6月1日	イペリット入りの缶１本	イペリット缶１本。負傷あり。人数不明。
710	発見	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和27年7月15日	ドラム缶１缶	舘山寺北浜名湖岸にドラム缶１缶が漂着。
711	発見	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和30年12月20～22日	イペリット缶１個	浜名湖でイペリット缶１個を発見
712	発見	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和37年3月27～28日	毒物容器２缶	毒物容器２缶発見
713	発見	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和37年6月24～29日	毒物容器２缶	除染
714	発見	9	静岡県　浜名湖周辺	昭和38年6月21日	イペリット缶２本	除染
715	被災		静岡県　浜松市	昭和51年7月30日	イペリットドラム缶	ガス管工事中、地下１mから直径50センチ、高さ80cmのドラム缶を掘り出し、漏れ出したイペリットで作業員２名と住民6人（うち子ども２名）が被害を受けた。現場は、陸軍中野学校の分校と飛行教育隊の跡地。直径50cm高さ80cmのイペリット缶をドラム缶にコンクリート詰にして海中投棄（投棄海域不明）。
716	発見		京都府　宮津市	平成9年7月23日	旧陸軍毒ガス処理器キャニスター型１個	処分については不明
717	被災		大阪府　河内長野市	昭和20年年9月頃	イペリットとルイサイト	輜重隊が池に缶を投棄。開封して魚を捕獲していた大人1人死亡、子供2～3人負傷。
718	発見		大阪府　八尾市	昭和53年9月19日	イペリット200cc、ヒ素50cc、青酸30cc	イペリット200cc、ヒ素50cc、青酸30ccを「MAHQ防衛部化学幹部以下3名」が晒粉で中和した後にコンクリートに詰め、海上自衛隊阪神基地隊に海洋投棄を依頼。
719	発見		兵庫県　赤穂市	不明	イペリットやホスゲンなど毒ガス５種類と催涙ガス１種類	新聞記事によると兵庫県赤穂市の教育施設においてイペリット、ホスゲンなど毒ガス５種類と催涙ガス１種類が発見され、伊丹市の陸上自衛隊中部総監部に処理を依頼した。
720	被災		兵庫県　姫路市	昭和31年2月20日～4月28日	黄燐弾７７発	小型底曳漁業者に毒物による傷者発生。大阪基地隊において引揚げ、海中投棄。
721	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和26年4月	不明	タコを捕まえていたところ，海底にあったとみられる毒物により被災。

No.	項目	地図番号（図3に記載）	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
722	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和33年5月29日	青酸ガスボンベ（約20kg）１本	漁業者が，大久野島付近の海域で網にかかったボンベを廃品回収業に売り，同作業場で解体作業中ガスが漏れた。被災状況は死亡１，中毒９，軽傷１８ボンベは民間会社で処理。
723	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和43年5月11日	毒物ボンベ1本	1人負傷
724	被災	4	広島県　大久野島周辺海域	昭和45年2月22日	毒ガスボンベ1個	小型底曳網にボンベがかかり漁民の「ノド」に炎症。コンクリート詰め、海中投棄。
725	調査		広島県　大久野島周辺海域	昭和45年3月3～5日	調査	調査
726	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和45年12月22日	青酸ガスボンベ１本　（48年調査、新聞記事ではボンベの内容不明）.	小型底曳船で操業中，ボンベを網にかけ，引き上げたところ，ガスが漏れ，乗組員4名が負傷。ボンベは自衛隊がコンクリート詰し太平洋へ海中投棄。
727	発見		広島県　大久野島周辺海域	昭和46年2月8日	ボンベ1本	漁船が酸素ボンベのような容器を引き揚げた。市役所係員が調査した結果、頭部が腐食により切断されており、内部は空で危険性がないために市役所で保管した。
728	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和46年2月8日	毒ガスボンベ（青酸ガスと思われる）1本	漁業者が，小型底曳船で操業中，ボンベを網にかけ，外そうとした際，ガスが漏れ軽い中毒症状にかかった。ボンベは運搬中に壊れ，ガスが放散されたので，海中に投棄した。
729	被災		広島県　大久野島周辺海域	昭和21年秋～22年	1)イペリット　2)箱に入った物（中身は未確認）　箱の記載：あかいち、あかに、きいいち、きいに。50kg弾様の物に充填され、ﾊﾟﾗﾌｨﾝで覆われた物。数量は不明。	廃棄作業中、1名が作業中に被災、後に死亡。昭和21年7月29日、約90名が毒液を浴びる。
730	被災		広島県　大久野島	昭和30年7月	イペリットらしいもの	大久野島の池に沈められた防毒衣などを引揚中の作業員２名が毒ガス障害を起こし、うち1人は後遺症で1956年1月に死亡。
731	処理		広島県　大久野島	昭和30年頃	不明	臭気のある黄土が見出され、トラック7～8台分の土砂をコンクリート槽へ埋設した。
732	発見		広島県　大久野島	昭和30年頃	不明	大久野島，小久野島，松島で囲まれた海域で漁をしていたところ，正体不明の小型のドラム缶を網に掛けたが，中身を確かめずに再投棄
733	発見		広島県　大久野島	昭和36年6月13～15日	赤筒（クシャミ剤）2.5t車5～6台分（推定）	大久野島が国民休暇村に指定されるに当たり，広島県が自衛隊に島内の残留毒ガス調査を依頼。調査の結果，防空壕内からあか筒が発見されたが，処理については不明。
734	被災		広島県　大久野島	昭和36年	ｲﾍﾟﾘｯﾄと推定	新聞記事に「国民休暇村建設時に工事の請負業者が土中のコンクリート塊を爆破したところ，イペリットの黄色い煙が広がり，作業員が被災。」とあるが，発生日時，場所，被災状況等の詳細は不明。
735	発見		広島県　大久野島周辺海域	昭和39年7月31日	旧陸軍の茶１号１コ	瀬戸内海で操業中の漁船が、海中から毒ガスボンベ１コ（旧陸軍の茶１号）を竹原市に陸揚げ
736	発見		広島県　大久野島周辺海域	昭和39年8月1日	毒ガス入りボンベ　１本	民間人から購入した古鉄の中にあった毒ガスボンベを１３師団武器大隊が回収し、海上自衛隊に引き継ぎ海中投棄
737	発見		広島県　竹原市	昭和39年8月26日	毒ガス入りボンベ　１本	詳細不明海上自衛隊に引き継ぎ海中投棄
738	発見		広島県　大久野島	昭和44年8月26日	あか筒３本発射筒１本	コンクリート密封、海中投棄
739	掃海		広島県　大久野島周辺海域	昭和44年11月13日～12月18日	発見なし	海上自衛隊が掃海艇３隻により２回に分けて捜索。その結果，毒物ボンベ等は発見されなかった。
740	発見		広島県　大久野島	昭和45年1月12～16日	赤筒650本	大久野島島内の防空壕から赤筒650本を発見
741	発見		広島県　大久野島	昭和45年1月13～15日	あか筒　大22本，中約600本発煙筒　1,000本，発射筒30本	厚生省及び防衛庁が，大久野島の防空壕内の調査を実施し，発見。昭和45年3月5日から3月下旬までの間に防空壕の封鎖により処理。
742	被災		広島県　大久野島	昭和47年4月18日	ドラム缶2個ｺﾝｸﾘｰﾄ槽1個	海水浴場の護岸工事中に，作業員がドラム缶及びコンクリート槽を発見した。その際ドラム缶から黒茶色の液体が流出し，作業員の一部がかゆみ，かぶれ等の症状を訴えた（診断の結果，毒ガスによる被害と判定できず），毒ガス成分は検知されなかった。
743	調査		広島県　大久野島	平成7年3月10日（環境調査開始）平成8年7月12日（環境調査報告）平成11年12月20日（処理対策最終報告）	毒ガス弾等が原因と考えられる土壌汚染を確認	大久野島の土壌や地下水から最大で基準値の2200倍のヒ素を検出。平成１０年から汚染土壌の撤去開始。
744	発見		広島県　大久野島	平成9年2月（発見）平成9年4月22日及び平成9年5月6日（調査）	あか筒の残骸３５本	市民が北部海岸であか筒らしき物件１個を発見した。このため，環境庁，県及び市が北部海岸を詳細に調査し，あか筒の残骸らしき物件34個を発見した。
745	発見		広島県　大久野島	平成9年9月	不明	「地元の者が，平成９年９月下旬に金属製の筒１本を発見した。」（新聞記事）
746	発見		広島県　大久野島	平成11年3月26日	大あか筒９本	島内整備工事において防空壕内から発見。化学兵器禁止条約に基づき平成12年12月に無害化処理が実施された。
747	発見		広島県　大久野島	平成11年10月23日	「97式中あか筒」	大久野島で8月に市民が発見した筒状の物体３本を研究者が鑑定した結果「97式中あか筒」と判明
748	処理		広島県　広島市	昭和21年9月9日	マスタードガス、　200kg、コンテナ	倉庫の地下からマスタードガス200kgコンテナを除去。
749	発見		広島県　竹原市	昭和52年10月12日	空のガラス容器1個	民間人が保有していた、「ちび弾」と推定される空のガラス製容器を、不発弾処理に準じてコンクリート詰めにし、昭和53年2月に海洋投棄（投棄海域不明）

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
750	発見		広島県　安芸郡	昭和33年4月	イペリット弾21発	イペリット弾21発発見。
751	処理		広島県　広島市	昭和41年5月21日	ジフェニルアルシン酸、ドラム缶1,120缶	
752	処理		広島県　広島市	昭和46年12月7日	ジフェニルシアンアルシン酸が入ったドラム缶1117本	敗戦後、軍から払い下げられたジフェニルシアンアルシン酸が入ったドラム缶1117本が民有地で野ざらしになっていることが問題に（「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」では計100トン）。
753	処理		広島県　広島市	昭和48年4月	ジフェニルアルシン酸約１２０トン	戦後処理物資であるジフェニルアルシン酸約120トンをコンクリート槽に格納し、埋設処理した。平成7年から再処理。
754	調査		広島県　広島市	平成5年3月～	ジフェニルアルシン酸・約120トン	土壌の一部に環境基準を超える値が検出され、その後、埋設物が漏洩し周辺土壌を汚染していることが判明。平成7年～8年。広島県が、埋設されていたジフェニルアルシン酸及び周辺の汚染土壌等を撤去し、北九州市の処理工場で焼却等により処理実施。
755	調査		広島県　広島市	平成7年2月5日	ジフェニールシアンアルシン酸による汚染	広島市出島町港湾整備事業埋立地で、1973年に県が埋設処分したジフェニルシアンアルシン酸による高濃度ヒ素汚染が判明。
756	被災	11	山口県　周防灘	昭和27年8月26日	イペリット弾と思われるガス弾30発	宇部沖の砲弾サルベージ作業でイペリット弾と思われるガス弾30発を引揚げ、13名が重軽傷。
757	被災	11	山口県　周防灘	昭和32年2月	イペリット毒ガス弾(数量不明)	潜水作業による砲弾の引き揚げ作業中に毒ガス弾を引き揚げた際、船上において相当人数がイペリットに冒され病院で手当を受ける。引き揚げた毒ガス弾は宇部海上保安署の指示により海中に戻した。
758	被災	11	山口県　周防灘	昭和36年3月8～10日	砲弾２発	U市の住民が海岸で砲弾２発を発見し、派出所に届け出る。10日、弾頭部からイペリットが漏洩し、付近の警官２名が被毒、頭痛、吐き気、眼痛、開眼不能に陥る。
759	調査	11	山口県　周防灘	昭和47年5月29日	毒ガス弾等は発見できず	掃海
760	調査	11	山口県　周防灘	昭和47年6月13～16日	調査	調査
761	発見	11	山口県　周防灘	昭和47年6月13日～6月16日	砲弾等の投棄らしきものを確認（毒ガス弾か否かは不明）	調査
762	発見	11	山口県　周防灘	昭和47年12月12日～12月16日	海底の砲弾の存在を確認した。（毒ガス弾か否かは不明）	海上自衛隊、山口県自衛隊調査。
763	掃海	11	山口県　周防灘	昭和47年～49年		掃海
764	発見	11	山口県　周防灘	昭和49年2月18～24日	旧軍毒ガス弾らしいもの５０発	コンクリート密封、海中投棄
765	発見	11	山口県　周防灘	昭和49年2月18～24日	砲弾50体を揚収 充填化学弾 11 充填物不明 16 普通弾 20 不明 2 薬莢 1	山口、福岡、大分各県合同海上自衛隊「ＨＬ作業」実施計画に従い調査
766	掃海	11	山口県　周防灘	昭和49年2月18～24日	化学弾の可能性の高いもの１１発、充填物の不明なもの１６発、普通弾と判断されるもの２０発、普通弾か化学弾か不明なもの２発、７５ミリ砲弾薬きょう１発：　合計５０発（尖鋭弾×２５迫撃砲弾×１１砲弾×１４）	掃海揚収
767	掃海	11	山口県　周防灘	昭和49年2月	不明	昭和49年2月に掃海作業を実施し、その結果を昭和49年7月10日とりまとめるに至った。
768	発見	11	山口県　周防灘	昭和49年7月10日	ガス弾27発	「大久野島関係省庁連絡会議」は、1974.7.10日までに宇部沖から砲弾50発を引揚げ、レントゲン検査などの結果、27発がガス弾と推定。
769	発見	11	山口県　周防灘	昭和49年11月18日～22日	毒ガス弾らしいもの6	コンクリート密封、海中投棄
770	調査	11	山口県　周防灘	昭和49年11月19～22日	砲弾の揚収なし	調査
771	発見	11	山口県　周防灘	昭和49年11月19～22日	毒ガス弾等６発	調査
772	処理	11	山口県　防府市	昭和57年	直径19cm長さ80cm、重さ23kg	青酸反応１ｐｐｍ　技術支援　旧軍毒ガス弾か否かは不明。
773	発見		山口県　秋穂魚港	昭和57年10月16日	迫撃砲ガス弾（青酸らしいもの）1発	ガスの残存がないため一般弾として処理
774	発見	11	山口県　佐波島沖	昭和57年10月22日	５０キロガス弾１発	底引き漁業中に揚収し、秋穂漁協に保管中、硫黄のにおいがしたため陸自１３師団がガス検知を実施、（青酸ガス１ｐｐｍ）S57.10.23水中処分隊が水密し持ち帰った後、海中投棄
775	被災		徳島県　小松島沖	昭和25年7月10日と31日	イペリット缶	小松島港沖で漁船がイペリット缶を引っ掛ける事件が3件発生し、11名中毒被害。
776	被災		愛媛県　大三島肥海沖	昭和43年5月11日　被災昭和43年5月13日	毒ガスボンベ（種類不明）１本	ボンベを開封した際に被災。ボンベは海中投棄により処理。
777	発見		福岡県　北九州市	昭和44年7月4日	イペリット弾２発	コンクリート密封、海中投棄
778	発見		福岡県　北九州市	昭和45年6月19日	イペリット弾1	コンクリート密封、海中投棄
779	発見		福岡県　北九州市	昭和47年5月4日	イペリット弾1発	コンクリート密封、海中投棄
780	被災	12	福岡県　苅田港	昭和29年4月	イペリットガス弾	イペリット弾（数量不明）、3名負傷

No.	項目	地図番号(図3に記載)	場所	年月日	毒ガス弾等の種類	概要
781	被災	12	福岡県　苅田港	昭和29年4月	イペリット弾、ガス弾（数量不明）	爆発物件等引揚業者が作業中にイペリット弾（45kg）およびガス弾を発見（数量不明）。内部のガスが漏洩して作業員３名が被災
782	発見	12	福岡県　苅田港	昭和36年4月1日	イペリット弾1発	埋立作業員がイペリット弾（直径11cm長さ50cm）1個を発見し、苅田警察署に届出。水中に保管し、後日海上自衛隊により処分。
783	発見	12	福岡県　苅田港	昭和40年	イペリット弾１発	コンクリート密封、海中投棄
784	発見	12	福岡県　苅田港	昭和41年6月4日	弾15個	浚渫作業準備中の潜水夫が水深10メートルで弾15個を発見。海上自衛隊下関基地隊の調査で毒ガス弾と判明。
785	発見	12	福岡県　苅田港	昭和41年	イペリット弾1発	発見
786	発見	12	福岡県　苅田港	平成12年7月上旬～	毒ガス弾が500発以上	国土交通省九州地方整備局苅田港湾事務所が事調査によりした結果、判明。
787	発見	12	福岡県　苅田港	平成12年11月21～12月11日	化学弾１８発（あか弾６発、きい弾１２発）及び化学弾らしきもの３９発	浚渫工事中に爆発物１８発発見。海上自衛隊佐世保地方隊が揚収。（後に陸上自衛隊化学学校の協力を得て化学弾と判明。）３９発においては、現在発見されたままの状態で海中に存置。
788	調査	12	福岡県　苅田港	平成12年11月28日～12月12日	化学弾らしい18発検知	調査の実施
789	発見	12	福岡県　苅田港	平成12年12月11日	砲弾１個	土砂処分場浚渫工事に先立つ経層潜水探査作業中の潜水士が発見。
790	調査	12	福岡県　苅田港	平成13年12月20日	老朽化化学兵器	苅田港老朽化化学兵器の無害化処理に関する調査研究等に係る経費の費用を防衛庁に支出
791	発見		福岡県　北九州市	昭和30年6月	イペリットガス弾１７発	北九州地区でイペリットガス弾１７発発見。
792	発見		福岡県内	昭和36年1月12～13日	不明（弾）9	コンクリート密閉、海中投棄
793	発見		福岡県　北九州市	昭和38年10月1日	イペリット弾２発	コンクリート密封、海中投棄
794	発見		福岡県　北九州市	昭和38年11月25日	くしゃみ性ガス弾1発	コンクリート密封、海中投棄
795	発見		福岡県　北九州市	昭和40年	イペリット弾１発	コンクリート密封、海中投棄
796	発見		福岡県　北九州市	昭和40年	イペリット弾１発	コンクリート密封、海中投棄
797	発見		福岡県　北九州市	昭和43年	イペリット弾1発	コンクリート密封、海中投棄
798	発見		福岡県　北九州市	昭和45年6月19日	イペリット弾1	コンクリート密封、海中投棄
799	発見		福岡県　北九州市	昭和45年6月19日	イペリット弾1	コンクリート密封、海中投棄
800	発見		福岡県　北九州市	昭和46年9月11日	イペリット弾２発	コンクリート密封、海中投棄
801	発見		福岡県　北九州市	昭和49年5月31日	10cm砲弾（きい弾）1	コンクリート密封、海中投棄
802	発見		熊本県　西合志町	昭和38年7月9～11日（7月8日～9月22日）	150リットル入りイペリット缶２本	コンクリート密封、海中投棄
803	被災	13	大分県　別府湾周辺	昭和29年3月16日	50kgイペリット弾（数量不明）	イペリットガス弾１発発見、3名負傷
804	発見	13	大分県　別府湾周辺	昭和29年5月24～29日	イペリットガス弾６発	別府湾でイペリットガス弾６発発見
805	発見	13	大分県　別府湾周辺	昭和29年6月14～19日	イペリットガス弾６発	別府湾でイペリットガス弾６発発見
806	発見	13	大分県　別府湾周辺	昭和29年10月6～13日	イペリットガス弾	別府湾でイペリットガス弾発見（数量不明）
807	被災	13	大分県　別府湾周辺	昭和30年6月15日～昭和31年12月6日	イペリット弾1360発、ガス弾の疑いがあるもの1137発	別府湾を掃海した。イペリットにより負傷者約32人
808	発見	13	大分県　別府湾周辺	昭和30年9月15日～昭和31年12月6日	イペリット弾2,498発	引揚げ、海中投棄。
809	発見		大分県　中津	昭和40年	イペリット弾１発	コンクリート密封、海中投棄
810	発見		大分県　中津	昭和43年	イペリット弾1発	コンクリート密封、海中投棄
811	発見		大分県　中津	昭和44年7月4日	イペリット弾1発	コンクリート密封、海中投棄
812	発見		大分県　別府湾周辺	昭和45年6月19日	不明弾1発	コンクリート密封、海中投棄
813	発見		大分県　中津	昭和46年7月1日	イペリット弾1発	コンクリート密封、海中投棄
814	発見		大分県　竹田市	昭和47年5月4日	催涙（弾）1	コンクリート密封、海中投棄
815	発見		大分県　中津	昭和39年9月12日	イペリット弾1	コンクリート密封、海中投棄
816	発見		大分県　中津	昭和39年9月12日	イペリット弾2	コンクリート密封、海中投棄
817	発見		大分県　別府湾周辺	昭和61年9月11日	旧海軍70kgイペリット弾1	海自から13師団に現物鑑定要請、じ後中止。
818	発見		宮崎県　えびの市	昭和57年11月27日	ちび弾21発	ちび弾の効力が「減消」していたため、第8師団が演習場にて晒粉乳液で除染処理。
819	発見		宮崎県　宮崎市	昭和49年2月5日	手榴弾（ちび弾の疑い）59	コンクリート密封、海中投棄
820	発見		沖縄県　糸満市	平成10年7月11日	茶瓶１個	陸軍病院壕跡で発見。
821	発見		沖縄県　糸満市	平成10年9月29日	青酸入り手投げガス弾１個	青酸入り手投げガス弾（別名茶瓶、ちび）とみられるガラス容器１個が、糸満市の新垣陸軍病院壕跡から発掘された。
822	発見		沖縄県　糸満市	昭和51年1月29日～3月2日	ちび弾らしいもの1	コンクリート詰め、海中投棄
823	発見		沖縄県　糸満市	昭和51年1月30日	ちび弾らしいもの1	コンクリート詰め、海中投棄

４．３　各事案の分類と今後の対応

（１）各事案に関する分類の考え方

○　本フォローアップ調査については、戦後６０年近くが経過し、情報が非常に限られている中、多くの関係者の方々の御協力により、保有、廃棄、発見、被災等の状況についての多数の情報が収集されたところであるが、こうした情報を集約した結果を、4.5 のとおり、地域別に１３８（うち、陸域１１４、水域２９、陸域と水域にまたがる５）の事案として取りまとめた。

○　これらの各事案については、フォローアップ調査において提供された情報を取りまとめたものであって、そのすべてが確実性の高い情報というわけではない。したがって、今後、毒ガス弾等による被害の防止のための対策を実施するためには、その基となる情報の内容に応じた分類をし、それぞれに適切な対応を講じることが必要となる。

○　そのため、各事案について、次の考え方に基づき、類型化を行った。

（２）各事案の具体的な分類と今後の対応

○　各事案について、上記（１）の考え方に基づき、旧軍問題等の知見を有する有識者等による助言を得た上で判断した結果は、4.4 の「フォローアップ調査各事案分類結果一覧」のとおりである。これら１３８事案（陸域と水域にまたがる５事案を含む。）のうち、人の生活する陸域において、毒ガス弾等に起因する環境汚染に伴う健康被害が現に発生している等の切迫した事案で新たに判明したものはなかったところであるが、健康影響の未然防止のための環境調査を実施すべき事案（分類Ａ）は４事案であった。また、対応を行うべき地域を特定するための積極的な情報収集が必要な事案（分類Ｂ）は１６事案、ただちに健康影響の未然防止のための環境調査を実施すべき状況にはないが、情報に関する事実関係を確認すべき事案（分類Ｃ）は２１事案であった。

○　なお、この分類については、今般のフォローアップ調査に対して提供された情報等に基づくものであるため、今後の現地における調査結果や追加で提供される情報によって変更することもあり得るものである。

①　陸域の事案（１１４事案）

a 戦後の被災や発見、埋設、廃棄等といった、毒ガス弾等が現在も存在する疑いを積極的に示す内容や情報源の種類、情報の数（複数情報が一致するものか、単独の情報のみか等）からみた「情報の確実性」、

b 具体的な対策の実施が可能かといった観点からの、提供された情報の「地域の特定性」、

等を勘案して、講ずべき対応との関係から、次の４つに類型化した。

A　毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性が高く、かつ、地域も特定されている事案（４事案）

・　こうした事案については、現地における、健康影響の未然防止の観点からの環境調査を実施するとともに、土地改変時の安全確保のための措置等を実施することが必要となる。

B　毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性は高いものの、地域が特定されていない事案（１６事案）

・　こうした事案については、対応を行うべき地域を特定するための、積極的な情報収集の実施が必要となるため、まず、現地周辺の重点的な情報収集を実施し、必要に応じて、地下水等の環境調査を実施することが必要となる。

C　地域は特定されているものの、毒ガス弾等の存在に関する情報の確実性は不十分である事案（２１事案）

・　こうした事案については、現段階では、ただちに健康影響の未然防止の観点からの環境調査を行う状況にはないが、情報に関する事実関係を確認するために、現地周辺の情報収集を実施することが必要となる。なお、当該調査の結果、必要に応じて、地下水等の環境調査を実施することが必要となる。

※　旧軍問題等の知見を有する有識者等より、特に指摘を受けて、本類型に追加した事案もある。

D　前記以外の事案（７３事案）

・　こうした事案については、現段階では特段の対応が必要であると判断する材料は存在しないため、今後とも、継続して関連

情報の提供を受け付けることとする。

② 水域の事案（２９事案）

水域の事案については、海洋２４事案、河川２事案、湖沼３事案であるが、元来、海洋投棄が主要な処理方法の１つであったこともあり、海洋における廃棄、発見等について多くの情報が提供されているところである。

こうした水域の事案は、特に、通常の生活における被害防止を考慮すべき陸域の事案とは異なり、主として、漁業、船舶の航行、浚渫工事等といった水域の利用形態を踏まえた安全確保等の観点から、海洋、河川等各事案の状況に応じた対応を図ることが必要となる。なお、毒ガス弾等の水域におけるその他の影響については、必ずしも十分な知見を有していないため、なお、引き続き、調査検討することが必要である。

○ 今後は、政府と地方公共団体が緊密に連携し、政府全体として一体的に、こうした各類型の状況に応じた、適切な対策を講じていくことが必要であり、そのための取組方針を可能な限り、早急に決定する必要がある。

４．４フォローアップ調査各事案評価結果一覧

表9 フォローアップ調査各事案の内容

(1)陸域事案

番号	事案コード			地名	旧軍保有部隊名等	個別事案に記載されている情報の内容				各事案における旧軍毒ガス弾等の種類				分類	
						生産・保有	廃棄・埋設	発見・被災・掃海等処理	その他	糜爛剤	くしゃみ剤	窒息剤・血液剤	その他		
1	8茨城県	-	2	神栖町	—		○		○				○	陸	A
2	12千葉県	-	2	習志野	陸軍習志野学校	○	○	○	○	○		○	○		
3	14神奈川県	-	1	寒川町	相模海軍工廠	○	○	○		○	○	○	○		
4		-	2	平塚市	相模海軍工廠	○	○	○		○	○	○			
5	1北海道	-	1	千歳市	第41海軍航空廠工廠千歳工場	○	○	○		○					B
6		-	2	美幌町	第41海軍航空廠美幌分廠	○	○			○					
7	2青森県	-	2	むつ市	海軍大湊警備府	○	○			○					
8	4宮城県	-	1	女川町	—			○					○		
9	10群馬県	-	1	榛東村	前橋陸軍予備士官学校		○	○		○		○	○		
10		-	2	沼田市	第六陸軍技術研究所赤城分室	○	○	○					○		
11	12千葉県	-	6	千葉市	陸軍防空学校、陸軍演習場			○		○					
12	14神奈川県	-	8	逗子市	横須賀海軍軍需部	○							○		
13	22静岡県	-	3	浜松市	三方原陸軍教導飛行団、第3陸軍航空技術研究所三方原出張所	○	○	○	○	○					
14	27大阪府	-	1	河内長野市	—			○		○					
15	29奈良県	-	1	奈良県内	三方飛西部派遣隊		○			○					
16	33岡山県	-	1	岡山市	広島陸軍兵器補給廠三軒屋填薬所、広島陸軍兵器補給廠岡山分廠	○	○				○				
17	34広島県	-	4	阿波島(竹原市)	広島陸軍兵器補給廠忠海分廠阿波島出張所	○	○				○	○			
18		-	5	東広島市	広島陸軍兵器補給廠八本松分廠、第11海軍航空廠	○				○	○				
19		-	6	第11海軍航空廠(呉)*	第11海軍航空廠(呉)	○				○					
20	44大分県	-	1	別府湾周辺	第12海軍航空廠	○	○	○		○					C
21	1北海道	-	6	留萌市	北海道陸軍兵器補給廠		○				○				
22		-	7	根室市	陸軍軍兵器補給廠根室港出張所			○					○		
23		-	14	札幌市	北海道陸軍兵器補給廠厚別常駐班、第六陸軍技術研究所札幌研究室	○	○	○			○	○			
24	7福島県	-	1	いわき市	相模海軍工廠鯨分廠	○	○		○				○		
25	8茨城県	-	1	水戸市	東部37部隊		○			○					
26	11埼玉県	-	1	さいたま市	第六陸軍技術研究所与野研究室	○						○			
27	13東京都	-	1	新宿区	第六陸軍技術研究所	○	○	○		○		○			
28	14神奈川県	-	3	湯河原町	第六陸軍技術研究所吉浜出張所	○	○	○		○		○			
29		-	4	第2海軍航空廠(厚木)*	第2海軍航空廠(厚木)	○	○			○					
30		-	7	横須賀市	横須賀海軍軍需部、横須賀特別陸戦隊	○	○	○	○	○	○		○		
31		-	9	茅ヶ崎市	海軍砲術学校			○	○				○		
32		-	11	横浜市	第2海軍航空廠瀬谷工場	○			○	○	○		○		
33	15新潟県	-	1	五泉市	第六陸軍技術研究所五泉分室	○	○						○		
34	16富山県	-	1	高岡市	第六陸軍技術研究所高岡出張所	○	○			○		○			
35	22静岡県	-	1	浜名湖周辺	三方原陸軍教導飛行団、第3陸軍航空技術研究所三方原出張所		○	○		○					
36	28兵庫県	-	2	洲本市	由良要塞		○			○		○			
37	34広島県	-	2	大久野島(竹原市)	東京第2陸軍造兵廠忠海製造所	○	○	○		○	○	○	○		
38	35山口県	-	1	周防灘(大嶺)	広島陸軍兵器補給廠大嶺常駐班	○				○	○				
39	40福岡県	-	5	陸軍造兵廠曽根製造所(北九州市)*	東京第2陸軍造兵廠曽根兵器製造所	○	○	○		○	○	○			
40		-	6	小倉陸軍造兵廠(北九州市)*	小倉陸軍造兵廠・小倉陸軍兵器補給廠	○				○	○		○		
41	42長崎県	-	1	佐世保市	第21海軍航空廠・佐世保海軍需部	○				○			○		

*:旧軍施設の所在地が、複数の市町村になる場合には、旧軍の施設名称で事案を整理した。

番号	事案コード			地名	旧軍保有部隊名等	個別事案に記載されている情報の内容				各事案における旧軍毒ガス弾等の種類				分類	
						生産・保有	廃棄・埋設	発見・被災・捕獲等処理	その他	糜爛剤	くしゃみ剤	窒息剤・血液剤	その他		
42	1北海道	-	8	標津町	—			○		○			○	陸	D
43		-	9	稚内市	—			○			○				
44		-	10	根室海岸	—			○					○		
45		-	11	戸井村	—			○			○				
46		-	12	滝上町	—			○			○				
47		-	13	北海道内	—			○					○		
48	3岩手県	-	1	滝沢村	仙台陸軍兵器補給廠盛岡分廠滝沢集荷所	○					○		○		
49	4宮城県	-	2	石巻市	—			○		○					
50		-	3	仙台市	—			○	○	○					
51	6山形県	-	1	米沢市	第六陸軍技術研究所米沢分室	○	○			○	○				
52		-	2	酒田市	—			○					○		
53	9栃木県	-	1	益子町	第181連隊		○			○					
54		-	2	石橋町	—			○			○				
55		-	3	宇都宮市	—			○					○		
56	10群馬県	-	3	群馬県内	—			○					○		
57	12千葉県	-	4	松戸市	—			○					○		
58		-	5	市川市	—			○					○		
59	13東京都	-	2	江東区	—			○					○		
60		-	3	台東区	—			○		○					
61		-	4	立川市	第3陸軍航空技術研究所				○				○		
62		-	5	世田谷区	内務省防空研究所				○				○		
63		-	6	八王子市	相模海軍工廠南多摩分廠				○				○		
64	14神奈川県	-	10	特殊地下壕(寒川町)	相模海軍工廠	○			○				○		
65		-	12	川崎市	—			○		○					
66	15新潟県	-	2	妙高村	関山演習場			○					○		
67	17石川県	-	1	富来町	第六陸軍技術研究所西海研究室				○			○			
68		-	2	松任市・小松市・羽咋村・金沢市	—			○		○	○	○	○		
69	18福井県	-	1	鯖江市	迫撃第3連隊				○	○					
70		-	2	福井県内	—			○		○					
71		-	3	三国町	練兵場	○				○					
72	20長野県	-	1	上田市	相模海軍工廠上田出張所				○				○		
73	22静岡県	-	4	静岡市	—			○					○		
74		-	5	焼津市	—			○					○		
75	23愛知県	-	1	美浜町	第1河和海軍航空隊	○							○		
76		-	2	小牧市	名古屋陸軍幼年学校	○							○		
77		-	3	名古屋市	旧軍兵器廠跡			○		○	○		○		
78	25滋賀県	-	1	滋賀県内	—			○					○		
79	26京都府	-	2	福知山市	—				○				○		
80		-	3	精華町および京田辺市	大阪陸軍兵器補給廠祝園坦薬所	○	○				○		○		
81		-	4	京都市	第16師団兵器部兵器倉庫		○			○					
82	27大阪府	-	2	八尾市	—			○		○		○	○		
83		-	3	堺市	—			○		○		○	○		
84		-	4	大阪府内	—			○					○		
85	28兵庫県	-	3	加古川市	陸軍航空通信学校				○		○				
86		-	4	滝野町	青野原演習場			○					○		
87		-	5	赤穂市	—			○		○	○	○	○		
88		-	6	西宮市	第六陸軍技術研究所西宮研究室				○				○		
89	30和歌山県	-	1	和歌山県内	—		○						○		
90	33岡山県	-	2	勝央町	津山陸軍予備士官学校		○		○	○					
91	34広島県	-	3	江田島町	第11海軍航空廠	○	○			○					
92		-	7	安浦町	第11海軍航空廠	○			○	○					
93		-	9	安芸郡	—			○		○					
94		-	10	竹原市	—			○					○		
95		-	11	広島市	陸軍供給倉庫	○		○		○			○		
96	35山口県	-	2	防府市	防府海軍通信学校	○							○		
97		-	3	柳井市	柳井陸軍船舶工兵隊第6連隊	○					○		○		
98	36徳島県	-	1	徳島市	西部33部隊(徳島連隊)・蔵本演習場	○		○		○	○				
99		-	3	小松島市	第11海軍航空廠岩国支廠	○				○					
100	37香川県	-	1	善通寺市	四国軍管区司令部の兵器庫	○	○			○	○		○		
101	38愛媛県	-	1	大三島町	東京第2陸軍造兵廠忠海兵器製造所(大三島)	○					○		○		
102	40福岡県	-	1	福岡市および志摩町	第21海軍航空廠	○	○			○					
103		-	2	久留米市	第1陸軍予備士官学校	○				○			○		
104		-	4	福岡県内	—			○					○		
105		-	7	北九州市	—			○		○					
106	41佐賀県	-	1	佐賀市	第55歩兵連隊		○						○		
107	43熊本県	-	1	西合志町	—			○		○					
108	44大分県	-	2	中津	—			○		○					
109		-	3	竹田市	—			○					○		
110	45宮崎県	-	1	えびの市	—			○				○			
111		-	2	宮崎市	—			○					○		
112	46鹿児島県	-	1	鹿児島市	—			○					○		
113		-	2	鹿屋市	鹿屋海軍航空隊		○	○					○		
114	47沖縄県	-	1	糸満市	新垣陸軍病院壕			○				○			

A	4
B	16
C	21
D	73
計	114

番号	事案コード			地名	旧軍保有部隊名等	個別事案に記載されている情報の内容				各事案における旧軍毒ガス弾等の種類				分類	
						生産・保有	廃棄・投棄	処理・埋没・埋没等処理	その他	糜爛剤	くしゃみ剤	窒息剤・血液剤	その他		
1	1北海道	－	3	屈斜路湖	第41海軍航空廠美幌分廠・陸軍計根別飛行場		○	○		○			○	水	湖沼
2		－	4	網走沖	第41海軍航空廠美幌分廠		○	○					○		海洋
3		－	5	小樽市	北海道陸軍兵器補給廠小樽出張所	○	○				○				海洋
4	2青森県	－	1	陸奥湾	海軍大湊警備府・第41海軍航空廠(大湊)		○	○		○					海洋
5	8茨城県	－	3	久慈港(日立市)	―			○			○				海洋
6		－	4	座島港沖	―			○			○				海洋
7	12千葉県	－	1	銚子沖	―		○	○		○					海洋
8		－	3	富津沖	―		○	○		○					海洋
9	14神奈川県	－	3	湯河原町	第六陸軍技術研究所吉浜出張所	○	○	○		○					海洋
10		－	5	相模湾	第六陸軍技術研究所吉浜出張所・平塚海軍火薬工廠		○			○			○		海洋
11		－	6	相模川	相模海軍工廠		○						○		河川
12	22静岡県	－	1	浜名湖周辺	三方原陸軍教導飛行団		○	○		○					湖沼
13		－	2	佐鳴湖	三方原陸軍教導飛行団		○	○		○					海洋
14	26京都府	－	1	舞鶴市	大阪陸軍兵器補給廠祝園填薬所・第31海軍航空廠・舞鶴海軍軍需部	○	○			○	○		○		海洋
15	28兵庫県	－	1	姫路市	姫路衛兵隊		○			○					海洋
16	34広島県	－	1	大久野島周辺海域	東京第2陸軍造兵廠忠海兵器製造所		○	○		○		○	○		海洋
17		－	8	宮島沖	―		○						○		海洋
18	35山口県	－	1	周防灘	広島陸軍兵器補給廠大嶺常駐班		○	○		○					海洋
19		－	4	秋穂漁港(秋穂町)	―			○					○		海洋
20	36徳島県	－	2	小松島沖	―			○		○					海洋
21	38愛媛県	－	2	大三島肥海沖	―			○					○		海洋
22	39高知県	－	1	土佐沖	東京第2陸軍造兵廠忠海兵器製造所		○			○	○		○		海洋
23	40福岡県	－	2	久留米市	第1陸軍予備士官学校		○			○			○		河川
24		－	4	苅田港	東京第2陸軍造兵廠曽根兵器製造所		○	○		○	○		○		海洋
25	43熊本県	－	2	三角町	―		○			○					海洋
26		－	3	水俣市	西部軍BOBB部隊高射機関砲部隊		○				○		○		海洋
27	44大分県	－	1	別府湾周辺	第12海軍航空廠		○			○					海洋
28		－	4	豊後水道	東京第2陸軍造兵廠曽根兵器製造所		○	○		○					海洋
29	47沖縄県	－	2	沖縄市	―			○					○		湖沼
													計		29

平成15年11月28日

正誤表

修正箇所	誤	正
P. 69　下から2行目	焼却処理した	焼却処理したと記載されている
P. 111　上から4行目	イペリット缶（不明）・ルイサイト缶（６ｔ）	イペリット缶とルイサイト缶（合わせて約６ｔ）
P. 111　下から13行目	発見されている	発見されたと記載されている
P. 182　上から13，32，33行目	青野ヶ原	青野原
P. 191　下から2行目	化学室担当者リスト	化学室担当者ノート
P. 200　下から11行目	協力した	協力したと記載されている
P. 208　下から3行目	自衛隊施設	米軍の弾薬庫